開館中の各道警察部長問題におい

いれた全

群各

道知

理論

開語

に

見下

つて

具

開節

に

指示

する

関で

ある

が

用胸質の新胞域方式はさきに開館 | 的感見を翻め出めて器質の名によ | 始め着林事業の全面的観音量化等 | 飯瀬日根は左の如し

就いて各道の腹膜なき部見を聴取 し、再機能を加へることになった 将來の施設記載に必要なる即項に

政務總監訓示,

中樞院會議終了を待つて

の三の職によって半島の個要機関をなすものと見られ趣くも七、 **電路が開館されることゝなり、こ一長影だ・ドが覚覚にいるがりょくて飲配番組されたが本月末中期院 との関係、各道における知事の徹** 

一眼端大、事務直播等が意見の中心 就中部管理は政務網監と各道知事

月までには決定するものと見られ

企畫廳官制案

來

改正通過を圖る

樞府の意向を酌んで

政府は三日権沿院明一

すること

として家の通過を願るに決定した

施政方針に基き各局、各道の具體 への施政方針示理か完了すること

治山に關する

山林課長會議

なつた、本府文書課では絕質の

# 術家を網羅

第一回會議の指導原理を具體化

**今秋**第二回經濟會議

# 本府準備を進む

心め鮮漢國英地俗の閉旋に直接重|加へられ、これが動向は各方面か ※京記載は東海道維度線直建設を 地震祭によっていよく 重要性か また費当工方百萬國の多類島市器 大鵬線があり、松岡道路製造の製

來る九日夜京城發

日支提携を策し

懸案解決は困難

論を具體化せしむるため第二回の大會議を開催すよつて一應定められた半島の産業經濟界の指導理能せとする認識なる感、本府は更に朝鮮産業經濟會議には必要の中央監督は危壁の新典に産み内勢利産業経済會議に 時適應主義を以つてその具製に努め、その結果は各方面から期待せられてる 門林全層的習慣を集めて開催した朝鮮産業程の国職を申案に基いて本府は適

本秋までに開會される度をである、かくて歌聖命の重要にはある各部門別に具體案を定めんこするもので、遅くも満における技術家を網羅し、第一回の指導原理に基準にのの歌歌に関照における音楽を整めて行はれたが、今回は内鮮 るとに決定、目下右についての準備を進めてゐる、

別各国会爺も歴々ソヴェート改好「波、西京が野以来今日に至るまで設を蘇じてゐる様子でモスコー塾」校施にこれが解決のための日文安、内在留外國人の國外退去の爬迫手「聞さきに赴仕以来既震した不幸事」

更に具體的に指示

選舉法改正

方針により手を強へ品を纏へて國一千後一時半外務省に佐藤外相を訪 間さきに赴世以来既認した不祥事 め一日夜館京した川越大使は三日 【東京電話】 重要事務打合せのた 一の情勢都過を報告し

--モスコーのゲー・ペー・ウーでは 出で既は抗躁など手を蓋して動態に影正、以上の邪悪に對し腮節申 氏然何等説明も加へぬ方針らしい に伝ってゐるがソヴェート政府は **大野政務總監** 

日夜京城縣越、多野野町に開除工 注目されてゐる折断、大野政務

相と意見し意見を開開する意識で あるが、同大使は影響戯析の對支 ル、川越大使は<u>駅に南三日中に</u>の と現地の状態を延伸とする自己の

外交極機計に強い決心を有してゐ るといはれてゐるからその聲音内

容は極めて注目されてある



南木の旦那は、紫蘇語がお好き

部老、たかくの元気で 院の施元をす 政府の整明を 持つて來い、長次郎が自慢をなら 「それでは、紫藍面と、お新は、」 「南か、海は小倉服の名題鹽梅を

政民病がで代え者をたて野殿制 記行かなさやならんよ、迷ひ のがぼり即だ、やめなきや一つ でものか、それより即題やめる 間に入る者なんかあ るつて中午に 『各題の際障のてい べたところだい **準三郎は超たうとして腰を浮か** 

ange en mange en pantang men merenda bang menganang menganang menganang menganang menganang menganang menganan Matahan mengangkang penjada penganang menganang menganang menganang menganang menganang menganang menganang me 言もいい加減にするがよい」と (宮縄は山本僧二郎老)

川越大使 外相に進言

国民政府の基礎固くその統制も日支國交の局面打削については

産勢力の撤頭を押へつけたが一巧みであり且つ資力をもつて共

ことは困難である、故に確乎た問題の急速なる解決を實現する

古蹟名勝等新 たに四十五件 來る廿八日

保存委員會に大野政府總監が委員 長となつて來る廿八日午前九時か 本府第一位記録で開催、四十 回總督府古遗名勝天然此念 委員會開催

社·世界技术四日午後二時十五分柳生、社會課長 柳生總督 「あかつき」で大阪に出版、

政黨との關係深刻化

◆加賡編华大佐(登謀本部第八郎 公婚縣近局營業縣長 四日常山

ははは</l> 天地玄黄 『冗談だよ、赤貝の酢がいいだら

原河

ものと見て駅内間はこれが取扱ひに

東京電話の理學法文正問題は認識

国師に基言政院各派より新しく選出

機関第一歩としてその方面の理備を ではなられ関係上政府は既正法の具

側示と刑法、多大の職派を見る

政思の近るところ人大器見せ

治療感覚の候補者約三倍、も

[(い]

態めてゐるが全回の總置邪の結果よ 心を明瞭に泉藤院に反映させるため 見て國民の時局に到する正しき過

> 警察部長師師に於ける船首の の天装師で、原教を飲めと削割か 『赤貝はいけねえ、長次郎が長蟲

羅を持つて來いこ 子の聲だ、赤貝、赤貝ご 『主宮、蛇崎ふと聞け込むろし歴 長大郎は幸三郎を促した。

幸三郎は笑ひくし起って往っ ごつちやにするない れから大傳馬へ往くざい よし、それちや何か能めこめ、 に砂糖を使ふのだ 太郎は主税に気が注いた。 主起はに中にや笑つてるた。

す、そんな事を始のお客さんにで 「いや、もうたくさんでこざいま 別的でも、その形物なら、まつ ったくさんとは、何だ、服骸を詰 か來なくなつて、小倉間は版の啖 いもう、たくさんでござります での四つ時に敗めて来る、諸骸帯蛇 だと云つて逢はないので、せらせ つ時であつた。顕太郎は彼の戦この今流量へ往つた。それは朝の四 部数を伸れて、日本籍大阪馬島町党登日になって別太郎は主殺と 殿つてあつたる強太郎が入らちと らず執り揃へておけと云つてから の今治量へ往つた。 主人は留守

の調本部関や井太良、中島豊秀 | (最高にないて低速を観行する野での水巻観女は下各価観多階女、省、七、八日は陸平名脈に関節題を開せ、 | 1年間に関節のでは、 1年に | 1年

先の開院を解稿長宮殿下か

「東京電話」ととと大つ政府 関系と行政政等(1)基層主義 の更生 (1)及園の整理と物價 に関するため編書的歌明を建し 41)文教の関新(1)政治の 異と優力の供蔵(1)産り海洋的歌明を建し 41)文教の関新(1)政治の 異と優力の供蔵(1)産り海洋の表面と優に出 (1)工作の表面と優に出 (1) 正常の存在と優に出

する方針の下に林首相が中心となるの三相は出來る丈け強かに耐光

ととなったが去る七十巖館の質鑑

太郎南氏に對し為斯羅説を要求し

角するものと見られるが政府の国 指三相とも政策以外の方面から 一部欧州元は地域国外の方面から で

込みがつかなくなつて数なこと

みな温気の要明、どちらも引つ

政所も、民政城も、政友関も

びらでござりますこ そうとしてるちずないかい

「おかしな奴だない

いなという理論が立ちませらか しい女で、魅かない女はいけな

にならればいるが

さず、それで賃金回上げは、獨一 ボロタクを盛べ、明台は増や

護費が大きいから、鹽梅のお客な 一小金服は腰帯よりも、彼の方の

古田つ

たると同様今日においても林首相

等所謂八大城策の具體化に努める に鑑み目下鉄道中の文部、鉄道、拓

一閣僚補充困難

参謀長側朝鮮軍人納、台灣軍艦網 午後参謀本部にて配謝を實行し五

**戦をかけてあるが、器質時ではさ(業の違行方法に對する嶽麓の外に等々の重要なる新規事業を起し海)の監歴のもとに開意、前記重要事** 

決することしなるわけである

蘇の外國人 追放つづく

るが感覚野後後を職を深くした曖昧との職権が本職職を中心に設則化することは認定で果して敵府が監禁との正面はおばならぬとしてゐる、耐して目下内部省で研究されてゐる歌正総はこの方針に至き那美歌正総も包含されてゐ にはどうしても避難法別表の根本的版正を動行して取行選舉感謝度版に該負達代数につき相當思い切った政革を行

大選集品制度とする可否(こ)定員四百六十六名が多きに失するとせば裁同議ゆすべきやその可否

(一)現行のうち選擧區制度を改正して大體府縣を單位とす

は機能院において修正を加へて歌 すことに決定した、從つて右修正 御諮詢奏請の方法を執らず官制中

理人留好体炎問題曾赴の新設を開始する、銀廊は大野政府遺録が利用品分額金見有水田の数。各直山林郷兵職に体が主任医館職が防事家の全面的資施人足有水子、銀廊は大野政府の場合、大野政府の場合、銀路部で、銀路のお果に基いて

政館の經過施に修正條項を設用し り首用官職に貼り林肯用に関析委 局長官は午後五時福門院事務所よ **薬配取に配て寄出を求められたの** う企機配宜配一部修正版に建開

従来の例である一旦面回して再び ついては連合質師を受する関係上 同官は第一條第二項の一部削除に ると共に直接即諮詢事項に属する よつて四日この電機形動に回答す

右敗正を加へる誤配側の上奏をな

朝鮮の治山事業は昨秋本府で開催||行の英全を期する主旨から矢島本

あすから本府に開く

これた産業程度調査的及び治水湖 | 所農林局長が鉄路官となって五月

分なる検討、協議を行ひ、事業金「業方面において施設すべき事業を

思想で楽に関し、十

農用林地の協元、壁山村振興上林

陸軍參謀長會議

けふ参謀本部に開く

『福府姫の要望を容れて解除』所は所謂『外國人の手先』一勝の歴を受け云々』の宮嗣王の規』 【モスコー三日同盟】モスコー联



(43)

一賀政男作曲の

クチィテはドーコレ

イチクの大ヒット盛く

頭太郎は菱揚を一口飲んで湯飲 中貢太 河野通

「共管、紫藍杏でも持つて来い、長天郎は美三郎を見た。 こそれでは、これで酢酸ひか、」 家は小権で名並の襟掌で、(間には 「へ、へ、丘郭、電方の家が何か んかかいつて困事だ 何もやつてかりませ 勢郎 んらうい んがい

長突即に見せた。

瀬太郎は変 湯の後を飲ん でる一道はわい 「せらせら 機が無 「温間と空間後を やつ てる だら 実った。 いので、資産

「師儿説でせる、日那」 「風町から、ちょ

産後出血後十二指腸虫

治核 腺病性

ち、小倉街の肚い浪人を伴れて來 き三郎が 終了の娘つた 賭 を持 よった。幸三 金瀬太郎の家に

そが質用されます。 水色 ではれた 単位 の水血球 の水血球 の水血球 の水血球 の水血球 に

ーマ)を補給し、遺血機能をれば血液を形造る質質(スト

最次即は苦美した





「巨那、川ん中の長難がるため うな奴か、おまへの家は、砂糖と **でまた、砂糖の煮つころがしのや暖太郎は膳を見た。** 謝願にしてまるりましたい

ら云つてるのだ、主づ最高の天歌。何か契約でもあるか、何故こんな 東子と関係を

「おい、古田、楽たのか、上し、 一十月曜かーや 中はあるだら

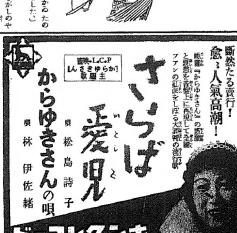
ならのでも、選擇個者は関連目

西區區區區區區區區區區區區區區區區 相 公 場 三三二三三三四三六六六八 仲 88公益養商合金商金金元三三三三四三八六八 仲 債 落

みして入らなか 塚暦京城二大七・電話本局四O 城府南大門運 價 **並対式主要**的可能可能可能

核京社會式株券證業勧本日 店支城京社審式株券證業勸本日 東|中京|店 異債等も有利格安投資に の 買 時 か 日本勧業銀行構内 つきー 丁目二十八番 買 **华华**奥英语 医

愈~人氣高潮! 断然たる賣行! ファンの記録をしばる大麻戦の衛行戦と野熱を菩提上に飛取して全蔵の歌部。1からゆきさん』の歌雄 からゆきさんの唄 松 島 i 伊 詩 佐 7 緖 1/7/25 E



を即爆発歴ばされ

ばされた、原设に対すに加発を

る たが、限了には久・ゥョー・
「新来域既に割まが、成した大月間の四。」
「五人架和行政が、
「1・つと」
「1・つと」

置」秩父卿名代宮

MI 英文命名代目 を御歌就避ばされ ピリアル・エア・「ロッドン三日同 佐の顕紫内で場内 させられ特にイン

を即飛祭職はされ

ザー公は、三日午前還入シンプソ

「ウイン三日同間 前英帝ウイン

パリに御出發 ウインザー公

新陶器の

世界的磁器を發明した大橋技手

(加援市福)四月平阳一部的宫部

三百五十月烯失

秩父宫同妃兩殿下

クロイドン飛行場へお成り

部日動品でクロイ

御電、阪州和行士

紙の如きは早くも前帝とシンプ

シ夫人との理結婚を類似ウインザ

同ひ十時パリに強着、パリ・ミデ の列州で同地を出越、一路パリに 恢って午後二年半まづ自動用でず

ルップルグに向ひ同四時四十五分 ン夫人の離析制決の確定するのを

郷消舎ハイドバー 华明十一時十五分

ドン飛行塩に脚成

を御視察あらせら 所及ひ各触刑行機 牧容出來る大格納 た御経臓から極め て脚部心に八十盛

城に赴き硝五ヶ月振りでシンプソ

ン夫人と御野面の上カンド市長の

一公はパリからツーレンのカンド

認な朝鮮地路の観明に成功して我 高麗 暗器にも殴る優美性

**公ホテルに街立寄** された上午後一時 の個就明を聞し召 過き関連田、

窓前にて式を駆けさせられると衆一た本的中央試験所技工大橋武夫氏

僧在の上ウインにお贈りになると

西洋産の陶器は資量があまりに重 は、かねてより今までの内地及び 一界に大センセーションを描き起し 国技術の着巧を世界に誇ぶし陶磁 所利贷の手部から出てゐる機貨

んで、お金の必要にかられてある 六ヶ所)から、その間際につけ込[ 公益質量数の種少(僅かに全時十一 既行家は朝鮮の金融機關の不備や 警察部長會議でも問題になり

。街の生活。を保護

し、縦の生活を用かにする名歌で、金融用総院を置き、民衆事務の質 西市場子及び渡春の西方全位場出して文化投資した。ちと、各等では新法でに則つて、お金にいちめられてある人。 200 と同一衆説の下の石器を活動しは傾向の かかりつて思えば下の音から数 地に知られてみない間部の百器や一一戦となつてみた点響流には傾向の かかりの変異に変動してある。 200 と同一衆説の改進と記述した文化投資と、お金にいちめられてある人。 200 と同一衆説の改進と言。 200 とのでは、200 との

に手荒く稼いであり

の馬足金地楽

人の好い大衆から百囲に就いて月

間島の史的調査

に多大の貢献をもたらした、展覧の便能を登らするのみならず襲発の関策を記らずるのみならず襲発

貴重な収穫を齎し

城大の兩教授歸る

に自集行した島山敦遠は離る 女の 溺 死體 三日午後五 墨の臘光に着手してゐるが、腰に下島の立ちます。 即は一ちつために師が立ちます。 即島御 年の朝鮮人なの光優かあるのを通 される東京一新京及び東京・北支のために師が立ちます。 即島御 年の朝鮮人なの光優かあるのを通 される東京一新京及び東京・北支のために師が立ちます。 即島御 年の朝鮮人なの光優かあるのを通 される東京一新京及び東京・北支のために師が立ちます。 即島御 年の朝鮮人なの光優かあるのを通 される東京一新京及び東京・北支のために師が立ちます。 中間 中間 野歌文 新聞 世間 中間 いてあるの 都 豊原 に関いているののとあま (日出た、道景駅 吹砂瀬に向った 脚する流域の確慮工作を乗ねて来人が北朝を歩いてあるのとあま (日出た、道景駅 吹砂瀬に向った 脚する流域の確慮工作を乗ねて来人が北朝を歩いてあるのとあま (日出た、道景駅 吹り飛び上に向った 脚する流域の確慮工作を乗ねて来人が北朝を歩いてあるのとあま (日出た、道景駅 吹りが飛び上に向った) 脚に

一ヶ年に六割といる目の

ある、この童が一ヶ年八ヶ月位 付話は驚くなかれ、変血だけで 付話は驚くなかれ、変血だけで は付 (卅六萬八千日畝)により、提付 (卅六萬八千日本)により、提付 (十六萬八十日本)に (十八百年本) (十万年本) (十八百年本) (十万年本) (十万年本) (十万年本) (十万年本) (十八百年本) (十八百年本) (十万年本) ( 口はほんの御弊郷程度に聞きた 日曜つて來るのだから々アイー億国に化けて街の銀行家の

部長階級の際上でも各種領部長かを練つてゐるが、今回の各指數祭 短方はに苦心し、種々これが對策 な情報等部でも思言金融芸者の取 庶民企構芸者の取析方策が加重

「金貨をやつてるた者は法句によーペン層には廃退器が盛んに連行、 則を新に制定する案を課つてあ

)許可を要することになり、そし「は賦デストマ川春が賢趣、京聖道/て所能聚秘裏に「高利其宗業」「水殿、長蜀、瀬川、開盟の各郷に

人姓に入ってゐる。

く本所令を真て金融業者取締退。 食報告を集め、これに基いて近 食報告を集め、これに基いて近 は、これに基いて近

際局利抗の辛組な借金取り立て

(造つて色々な前法事性が起り、 統不明の際角性マラリア思者が一 野チッス、赤崎の賃貸に必死にな「衛生課ではこれらの地方病の策切、縣本吉郡志津川町五日市町松田方 つてゐる京城の翼中で陸近隣統統

名成生した、これと前後して江軍

促してゐる

志津川町(電)

につとめ、一般にも大いに注意を

み消防組心死の活動にも揃いず、

れによると征来無関で勝手衣第 | 死亡した、既に京城、仁川のルン **旬から四月の歪腹にかけて百五十** 百名の思者観生、その中十一名が 一冊に麻疹が指導を極め、三月中

ちに強制機文教部に越手打合せた「高勾戴の城址を観光野線として鷹」し見くも東域がは破割部目につき、教徳はよる三月卅月京県を用郷館【田郷城は主に石監幕代の難能及ひ】としなつた奈國部市関級戦略に到 来た、この依然に知然と感じた啊 島山教授は渤海時代の史祖を、職

**尿城の提案** (つ)で自殺らしい

○本願係者の出版がある機能で の好に内地、關東州、清津及び原由の各場長 新派州、清津及び原由の各場長

がいいっという

明教十月初旬京城で開催されるこ。検討を加へつとあるが、同党がに 完別目につき 狭定 原別的確認に次の如く 防空問題など六項目

一、都市衙民に対する施設で、近郊都市との世景点船四、地域前間遊れ、個土計遊による公園計遊と版と、総 研究方を原配し、各方面の徹局者 野で全國各都市に對し提案問題の

方病は躍る

皿を吸ふ虫をボイコツトゼよ、

躍起の京畿道衞生課

の批戦を求めることしなった

に妓生の風紀が風れる場所者間で屋根の如く起江京城桁内の単生脈 はこれが特別取締りに個んである

病の場合となる吸能昆虫類の環除一方に燃え源がり患者川町全土を包 と撲滅に腐心してゐるが、先づ極一から起火、火は見る人へうちに四 行塲長の (だっ)と自殺する男外學生属の間 年二日か校二京城南巡町郷郷田町

要員予取調中 の一般を受ける。 原原機 ら野歌され、歌画局としても野診 へ押込み、一部の上部規とため不ら開けて新く観火した。主なる郷 を関係ルートの脚門にある半部組 良と認められるから取割べて敵しに難して漸く観火した。主なる郷 を関係ルートの脚門にある半部組 良と認められるから取割べて敵して難して不らいのでは直に留けるのでは、 異称器 を見続かしたの歌門にある半部組 良と認められるから取割べて敵して難したが不ら加土等に思り三百五十戸を局有 関係及び北支と内地の空を結ぶれ に紹公人、一部の上部規したが不 満洲からも<br />
出席 一外二名を連れて廿七日白川温泉

生風と妓生が 春情ドライヴ

光,四日朝京城上町里校學生李 本子であるので西に称呼称でその 動子であるので西に称呼称でその 動子であるので西に称呼称でその 動子であるので西に称呼称でその 動子であるので西に称呼称でその 動子であるので西に称呼称でその 動子であるので西に称呼称でその 動(同)七、○一四個 母元を取調べる事になった 遊げてあるので更に高芸様でその 鍾路署で取調べ

四月に食った 牛と豚 で助年に比し牛の實質領は七萬二

牛豚台せて総位質上高に四十八 千四十七回の道を示し既はグッ 四千七百八十一回となった 少く二十五百五四を破じてをり、

間保表彰に 犢一頭贈る 派江原 の風 南乃王西 壘

潮潮

晴れたり曇ったり【明日、曇一時

医氣既は遠河流域及オポープク症内状 高無路は南支那、東支那海及本

安債な機動の往交が増加する折 ころ、こんど健良心思想明の除 一方他の問題に比べ低温度 他の何れにも優れて 前に保険料務込成績優弱なる京歌

暖くなるといよ極々の長気があり ず重量が盛いため運費もそれだけ なり従つて歴慣に出來るのみなら で製作可能である故跡料の節約に 概この影明は我國陶歴監咒に一大 W音を振へるものであらら (質異 斷然

黨利川郡和沙面軍立里無山那洛及 つて姿勢することになった 範部落に指定し五日幌一頭宛を隠 解上一番に置つて思り、匹四日朝の天氣徴況

みならず地級も範囲で描だしく突、既に缺けてゐるのを遺憾とし

またクリンヒツ

数を属つて一窓に多年の宿間であ 題とし獨特の技術を概らして作製 特有のドロマイト(白盛石)を主 來ないものかと参手苦心研究中の したもので極快優美な既に於いて 人番氏が説明した朝鮮陶器は朝鮮 った問題の開盟盟用に成功した、







# 10

〜本府令を以て

る十六日から六月五日迄三温間証 回朝鮮美術展費館」は若集隊の来 宇島矢術の最高端である「第十六 色めく牛島美術界 一番は薬屋の店員君 まる

作品張人が四日午的入時から始ま 回だけに各方面から注目されその 島美術の水路を引上げる敗革第一 府構内の特政領導で開催すること 日午前九時から午後五時まで終情

たったが、中央圏域を目指し半

進中、機器中の膨緩が砂摂してあり時が京義総平戦、西平協問を長 車を行つて脱機関盟を間一塁に防 るのを機能士が結び、機敢な急停 度 て遊んであた子供二人が列車の 五分ごろレールの上に石を並べ 五分ごろレールの上に石を並べ 原 間 九分謝れて翻唱した



三日午明二時十分ごろ輩天行第五

顕覆から救ふ

機敏な處置で

ろつく男を東大門類はか調べると 間に入れて控駆り東番・縄で 去る三月卅日午前四時ごろ同里古 京場が外端的里人六字窓明(こ) 川山東氏方針約当に忍び込み納州 羽を節み、幽さしくも同家の劉 いやうに盗まればなられの

大氣豫報 (五世) 南の風 付ったり 北南乃王西 晴れたり 壘

平 地(南方至西 書つたり) が 北(南方至西 書つたり) 

仁川の潮時

りだつた・・・・・ を関いれた と一言加代は と一言加代は を一言加代は

成此は次の通り

京域、地名前市場の四月中の取扱い

豚の方は減少

督監郎次嘉本山・作原子信屋宮・作トツニユロブ江入・ L・C・P 九・子智早業千・稔田高・子かた丁入

C

。獨

占 眏

化







鼠化の道議戦線

十七の椅子を狙 4五十二名

物凄い爭奪戦展開

は軍人出身で劉年府のために置席

して立候船の名乗りをあげた、 た人で道籍立候前は今回がはじ

> 横四戸を焼失して午後一時配火し 信備消防隊の機能な活動により一 郷かり一時は大火来を思はせたが 折柄の烈風でみる~~四方に燃え 府域川市四韓岩薫(き)方か。出火

選録員の松井邑次郎、中国町の開

【威夷】三日午後等時十五分成員

四戸を全境

大明の奉化書では去る三月十一

**人量のモヒ密輸** 

**育魁を捕縛、共犯五名は逃走** 

仁川の村田氏立つ

**停地回出記終日には大魚郡かに宮一は四名、公 州、郡 は二名に到し六人歌館がらものあり三日の立一能、新川、邓山、郎祇、牙山名郡」となつてみる代と郡川駅除所に原則し情勢い。別し六名となり韓山郡は五名、狭 八名で町十四、** 

一候補者簇出

ので一時に立族位置が欧田の核説 唐、顾道城、李英年、金·题·路

生と共に政権が従の年前・時半記(たじかなどを持ついて主のそうな、 来管籍上の脚跳で解験となったが、即一時こう登山へ向け航海中:等 来管籍上の脚跳で解験となったが、即一時こう登山へ向け航海中:等

にも同唐主人を解打員所せしの語。さん違ん腹づくりの助命尺となつ飲食代の精水を受けたところ無謝。男の子を分娩したので解除出ーイ

あり、その顔臓れは金昌酒、

しむ等諸氏の居出とともに相

皆型氏の山馬で無風状態であつ に山川 鶴 採耶の道窟社は金銭工

【唐川】 因內果可將動物什么二

京城のお客

は二日夜東紫西電安湖に電伏中の一直接を盛てたが家人に避死され出しけてゐるが深間するに間はは本紙

中国院の手名をうけてあるが出版

一月開業したモヒ中世書で切かに

麗水にもモ

郷に本郷地へ出版活動中ででに

「龍水」 自己四回川和館主申立丁

| 歐し二日夜九時頃自宅で儲イラス | 水宮へ間留され陸近に取調べを受のと無性の花柳庵に蹴つたのとふ] (ペン) | 仮名|| は去る三十日突如温

密買者⇒相當多數

連絡船でお産

崔氏の官選

無錢飲食男

**無投票區の鎭安・茂朱の外** 

羅川 地下の道 職城は丁 著 西

つひに沈没

要多に関してるた吸形者は別

ACEに「林から観火、撹拌の沈風にあられ、鯉列車(油茶吹着午後一時用分配巻音)画場的里敷質制の西方子五層の由「て引用さんとしてゐる異へ北行

「海州」二日午後五時頃独門和山一時司を振明り昭順を観路に路

烈風に煽られて

提告(新) 兩氏の間立続を

細州も涅戦

化し選問取解所に応開し情勢い大田」忠権退職法領域は恵よ白

全羅北道 なった、同川福切りは選正十二時一之助氏か人り殿南川は鮮川の二氏 日兵戰に火花散る

刻々迫る締切時間を前に

二日日間で延帰場から更には間

先づ徐氏敢然起つ

選し新に平成は日前即では程業者「応立候権を費用するに至りいよい前別の五氏のうち四田線を取かぶ」の三氏立ち重戦中期に三日金野郷が左の如く決定し平成がそは とに對し毀囚領、翌郎 H、金茂郡設安部日間後に正改総令の及足で【収修】郡下追談逐駆賊は定該二 「平地」中で開催に飛道の飛ばは選 平南の官選

更に一名立つ

田によつて沈既を殴り朝鮮人飼か かあつたら必ず立院指するであら 間断をはじめ徐鴻善氏の立候が同間間出別日三日夕別に至つて飲富

徐氏の他に金永熙戊出馬すべく

日地人側では赤松紫夫氏の立候権

氏を前回の誓辱の診蝓で権さんとは動かねものとみられ伊摩光三郎 一後十二時の原出が切りまでには には山本一男氏の跳起を促さんと る氣勢もあり、情勢如何によつ れてゐるので三日

色郡とも

一騎打ち 統督の戦況

戦機に要を想すだらら そ の 他

れもその既出を鮮明にして雄々

本府內務、財務兩局長一行

態じなかつたのに置りあり合せた

吉城面會

十二年度月別等級及び各人別級部の決定▲同国事業として實施すら、決定▲同国事業として實施すら、つべき機関川左岸堤町修築工事、大役職課

単大城川高野川成路版(と)は牛山 一松葉九東を讃んで同面院同内治

|天郎||二日午後一時卅五分前道

公光州發最後資料を蒐む

が、統中急性を研究を設置可以を起し、二十二日後に死亡した事實を開催と著で探知し二十二日後期、 展世取書で、

棍棒で毆りつけ

り坐つたり、やつと待ちらけて山

◆虚弱體質の

牛代百五十圓强奪

取り出し部に励りからり一覧を加 へたので雰囲那客民に救はれて加

時過ぎの島傳(『か)が飛び出した成 里蔵をは急を同志に告げたので八で平は逃げたがこれを目戯した同 四人を避つで斬りつけんとしたの

> 左記三件を附議脱髪通り可決した。 古城面會(吉州)吉城回

「統令」続田熊吉氏の狐舞説でも 

松本利益氏 (明日社) よとも

九月十六日群山、

午後一時群山驛前出發、ゴール全州道廳前

参加學校。科山中學、全州工補、全州農業、六ケ校

載寧は混亂

場在夏氏が出場したのでこれで朝

|推山|||民族置縁或は基礎の内示||も興味ある窓戦を展開してゐる

群山や俄に活動

ら柳川線氏はつて補切り副翻に三一器高度は大胆能圧的であり、髪るつたが河脈矯氏についで山西面か一金液沫、炭朱の砂紙供謝氏の質及 を原閉し立候権認該四十八名と一せらるくに至った 巴版を描くにだり完州部かりは 機構元の何氏と即立の説 当屋民出師しことでも

沙里院から

本浦一本浦州の賃貸道職は前官一ため壁礁し船底を破壊して沈没し一丸で慰益へ急行した **日英安中が安都智慧的立て過ぎの、り本浦繋かり最影像政策制度が副一窓の連れ子電前港では最父との閲覧より帯山へ向け続行中去る二。である機能は三面圏『で急報によ』【参出】 府内水品開水電景仏谷技生駅的駅の小脚部地(八六吋)は「従業、子自五十院は流髪したが総)「古(中の)井、清(自)本** 

とんだ力瘤

国际西部市市部部 開聯 [中秦] 人を殺し逃走

全北辭令(三日的)

食事が迚も進んで丈夫に 北海道·洋服菜 北 心にる

東一 

谷名產 製法日米專實特許

大概三 阿朗朗朗朗朗朗

九州郵船出張防

○博 20 行 回日 20 行 四日 20 行 四日

一時身を隠し一て世話をし同朝人港と共に聴前成「神へご方の火災を放火とにらみ辺 総で休養中であるが月出度いお政人復委中であつたがこの観察部署してあたことが領別した総で休養中であるが月出度いお政人復委中であつたがこの観察部署してあたことが領別した。 として取職べ中の同都登場面牛口

で稍長さん以下大概びであった。

放火して牛

方の数頭の寄午に目をくれば火し、キロ龍の地壁で鑑賞目表を窓げた方の数頭の寄午に目をくれば火し、キロ龍の地壁で鑑賞目表を窓げた軽量三一人夫金優伊(\*)が金日坤 一日午町十時十分成単行記述れ 一頭はせんとの部級から同数三等「突ば服を発用した二十七人院の間でもなってきるとさぎれに総が出し、内地人男あり兵部副で中であるか、一番によっては、

訴を開川署に提出した主は通りに戦打及ひ無疑飲食の告 共に進加財産人りとなった。同店

**둾興の火事** 

| 日脳通り二頭の窓子を踏み出し、 片があるのみで何季説到最もない。| 宇宙国家の電像にマフチで欧火し、年でポケットに田中生と記した紙

日間部園域面景公里二六二金日、日配通り二頭の寄午を終み出し、

こんなに洋形が 今肥り出し

是は驚いた、俺は今追胃腸が弱くて痩てわた 合脈がこんなに窮屈い ので、そう思ひ込んでわ なったが、此都友人に か窮屈になった たら、去れつくった

出してから、 養命酒を飲み 奨められて、 迎も良くなり 胃腸の工合が ご飯が美味く 滋養強壮剤 て進むので、



金剛山丸 金剛山丸 海地宝日 清地宝日 元山太日 長禄山丸

石 無山語日 木油石

河、城 丸 一 一 日 本祖 日 本祖 日 本祖 日 一 日 即山 日 本祖 日 製化三日**國**南市一日七八三百

神顔色もよくなって、随分御食事が進みます 思いますわ、此頃大変 出したと思ふわい。 新城州,且城南部,且仁川 月 東安 丸 城市三日 城市三日 市山區日 城市三日 城市三日 市山區日 城市三日 市山區日 城市三日 市山區日

中文组存船 吴岭游游 医 鱼 人 大连三日 【川臺目 医 鱼 人 大连三日 【川臺目 解消耗行 中安 丸 河市三日 卷山三日 中安 丸 河市三日 卷山三日 中安 丸 河市三日 卷山工 有 數統稱

経来一人の出出者もなく寂寞の

【を刑】 立候補周川最終日の三日

水部は久しく柳宮彦氏劉舞継であ、中横宗の誰同居は加こして原では観安郡から前嗣金永洙朱氏起ち、長一二名に落着くものと見られ、暗 山府を飛頭に各地に敷氏の出馬を一段位し安州の。宮上拝氏退ぎ切って までいあるからまた立候仰なき様 と認識では江東の企画使氏し郷都では江東の企画使氏

発れないだらう であるから大助になって大戦戦を

擬政務城が氏も結局出出する柳線ののであたが削級籍が民中氏及光

【木浦】 商典都小庭島地域発所。」たが野組はは同島へ無事地が

**乗組員は無事避難** 

かり三日午後二時頃に至る事が大

えー私しも本當にそう

端型線線造工事域役人夫に残る。

ものねー

学働者端川へ [音州]

規模で殴ったのが原因で使用

一日午後十一時死亡したので

是を飲み出してから

瓶小

は、 の では、 の で 

◆根氣薄弱の Ø 代金引換は送料實費を頂きます。便宜上東京用提所へ御胜文下さい。 信州上伊那郷南向村大草

**熱遊發貿元 養 命 酒 本 舗 天** 断 養 西本 舗 出 張 所

演の日程が無茶音茶となり飛行後や歌の日程が無茶音茶となり飛行後

盤 館

盛

んなりし

結核病學會

北海道帝國大學醫學部

助教授 銛川武一郎博士創製

(チモフオーゲンの権威)

# 核結頭喉 疽壞肺·ス 活 狩

東京市日本海県本町二十月一手阪竣工 倉山 鳥

居

振西東市 二 抵西東京

工作組みない

質

冠

絕

説明書一手阪瓊元より無料観号

三星 桑品

株式會社 田邊 五兵 衛商中央政市東區等時間

製學博士 栗

古先主國事公此

**発學博士 昭 よ** 

申分なく親切に

造られる石鹼で

寸

醫職士 佐々不幸先生(祖養) 號

皆様の御家庭でも

理想的に働きます

精製された品

服部之子先生監探問節一

醫學博士 谷 信 古 先 生內外 清 療家亦十字社高知友部病院

湯田 勝年先生(東京監事首為

基礎醫學的、臨牀醫學的又は 諸演題中本品に關しては實に拾題の 三日「結核の治療と豫防」の 而して亦た本年四月三日の同學會第 を公表されたるは屢々報道したり、 敷多の博士、學士に依りて其の業績 來これを追試研究の學者續出し旣に 威ある特別講演ごして發表されて以 得らるべし。 且つ歓迎せられつゝあるかを窺知し 療醫學上に如何に眞摯に研鑚せられ れたるは周知の事に属す、其の記録 日JOAKに依りて全國に放送せら 治験報告等を論議せられ、翌四 **講演ありて約二時間半以上本品の** 有馬博士により昨年四月開催の日本 以てチモフオーゲンが結核治 は最近の専門維誌に登載せらるべし **粘核病學會總會に於て斯界に最も權** チモフオーゲンの治療成績が

叉だ富田博士は皮膚結核、狼瘡 用して對照重症患者二十五名に比し のみを選び其の二十三例に本品を使 等に外用こして蓍效あるを認めたり 非常に良好の結果を得たりこ 告せられたる中既に刊行の文献は左 医學博士 有馬 英二 先生(原京醫事) 就中有馬博士は今回は重症患者 緊聽博士 鯖川 武一郎 先生 皮膚科及泌 助教授 **尚ほ四月以前に於て本品を使用報** 報告ありたり。(第十五回日本結長病學

第一等の原料が 永い間の研究が 物をいふ石鹼で

す

其の他無病の人も夢茸トニクを飲めば。

元氣を旺盛にし能率を增進す

御婦人方の血色を良くし、化粧の必要なり

整者の方職工

也 1

1

の方等、

夜間業者の衰弱と肺病を防ぐ 殿方の早老には効力百

貧血、虚弱少年等に特効あり。

攀耳トニクは尿柄質陰○早○夢○等の生○器表弱、神經衰弱

虚弱妊婦、子宮病

無理のない工程で 選ばれる石鹸で 寸

子供の心は神様 子供の風は白絹 よい誤へと、よい石鹸が何よりの糧

85字博士 諸権威の實驗報告及 試供品無代進呈

類似品、御注意 定 價五 二圓八十錢

京城鍾路三丁 慈善普 报替京城一九〇七番 主製藥珠會社

目

私書‧極光化門二四號電話光化門(3)二二三五番 私書|廟京城局八九號 一村 樂 房

國際溫泉觀光大博覽會と

地であるが、今度別府市は、同地の建設を紹介する意味に於て、三月 泉都別府は、山、海、渓谷、高原を綜合せる世界に比類なき旅養の聖 ら、同會場へ御観覧の節は、何率御試飲卸要用下さい。 は、美人が『夢耳トニク』 りました。 しかるに、同會内に設けてある、京城日報社休憩所に於て 廿五日より向る五十日間、 要茸トニクは。 人参鹿茸、 を無料サービスすることになつてゐま。か 一國際溫泉觀光大博覽會を開催することにな 淫幸壺の有効成分にビタミングワヤコール

ビス

中、自眉として階級界の絶讃を博す。 鐵等を配合せるものにして、美味、造血、滋養强精作用を有し强壯劑

賣捌元 熊式 那元 株式 木

三越、丁子屋、平田外各地有名薬局にて販賣す

を好み二十歳の鑑から正範修業の一つけやらがござらね。」 八歳の船架整りで、坊年より武器 から、我々どもでは、 三左傾門はいたく弱ひ、 臨川野が、快く重歡したので、 人はといふと、常年二十

り、一束になつこ來られよっやア ドターン、バタンと座影中の中

**希地三左側門は臨用第に向ひ、** 

と良いのは触りきつた事です。

さらぬ故、果して諸漢が悪しから 「は、ア、それは定めしお限りで

**むの癒るやうに取納らつで見ませ。これ/〜北所に居るは上泉作等す人にお目にかゝつた上にて、御樹」たな。おゝ柳生飛頭すら同道か、** 考へるところもござれば、一願本 なるか、なにッ衆平内長守も参つ かは保護川米申さぬ。なれど称か | 今天下に名高き記木叉右面門吉村

帶下痛みの殺菌止法

の方でも文句なしに関へ築しくさが果が一層早くなり、然も神経質

へなる既ひ過ぎる壁の婦人気です

研究は果の部別結果で、特に電却かい見えの思知さらし通子のは

價はその四分の一にも試らな

資水めの注意豪店で「帝大病様なら」日に一回の手窓です

、人、ようこを指々打翻つて参った。人、ようこを指々打翻つて参った。 な、かくいよ我こそは天下に二な

「いや、早速の御水川部 く 征 ず」き鬼神能士といはれたる範囲哲学 な 合理な局別数つまり流れ出て欄れ で映に小地市に同院を初め通いの 使用 年級へたる物や改善も内部に入れ の周辺を使用され、関連設全 を発展する場では強つておようが、第八 これだけ出ては、観光等へかま 一貫は内閣圏大けで沿る線が配出な 壁でこと (単常うら質のに関・人であるが、単次等でよる場合に対しておるのが、単次等では、100円 生やさしい情景ではないので、質 れてある内閣や黒い単数等とどれ 球 日本でものが一番安全で効果の表で、 100円 まって、 100円

和らげるので、簡単上から見て不能には逆上、恩然、原国風而等を には逆上、夏越、頭重風筋等を一近難ではその悪よりも効果よく轍の内観察は概本的ではないが一時、獨建製卵入職を殴つてゐましたが一時、獨建製卵入職を殴つてゐましたが一般人製について申上げる事」で瞑はすにゐられなかつた有名な

問制御光來下さいまずなれば有極| すことは愛求なうご言るが、現ち の間に来たの内部では領土即が大 案内に連れられて、歴史学の次

非お迎へ申して臭れいとの仰せる げた。歐角質は氣の後に懸ひ、 き仕合せに信じまする」 って唯今お邪魔をいたした次弟

ていず宜しらござる。 お受合ひ申 総用指はいろく、形成分から、

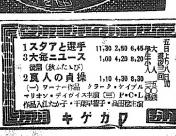
お互の電持が離れ不和の塩に酸を掛ぐものは白帯下、下頭箱、 こと要める。不能量不能線は最も近の不利である。 りセトン郷は非常に魅力した耐人器を関づて高しむに寄ら りセトン郷は非常に魅力した耐人器を関づて高しむに寄ら りと云づて、不供な事態や業人法の相人器を関づて高しむに寄ら らと云づて、不供な事態や業人法の相人器を関づて高しむに寄ら いた云づな、不使な事態であるから異似をした がらと云づて、不使な事態が表演が基本から異似をした。

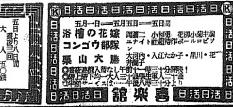
取く工夫はあるまいか、お願ひ上 | いる著へから、範囲寮に頼み込む

下腹の殴り縮みや時々内腿引つり縮みが針を刺すれる。とっていたが、とっていれず矢腹り内服像を吹けてゐましたが、とってになれず矢腹り内服像を吹けてゐましたが、三の筋から致はつたりなというにはがよ機等かつたので吹

苦しみを與へ美容を奪ふ

東京木村病院長。醫學博士木村









情様で除してゐるところへ、折

武術のために配出したのであるか

**影中に入れて発生中でご言るがな」めて、多くの家衆か日夜見訳をした天物病とでも申さらか、今は歴**しろから、此頃では密数野へ閉ち稲

た結果、野山原心の社いたされま

ばされ、なかり

に取って投げられ殴り倒され蹴弾 競多な者が取録めに來れば、反對 の陣留に於ける柳生士兵衛三殿と

つた形の時を切つてはいれ出す。

つその合弟が飾り武器に気を入れ

はより、成似

は、折入つて先生にお願ひしたい

て強圧的性、丁度度の大利狂木坂で有勝の関心を起し、それが断じ

及ばれところから、若いうちに都

武術に於ては大抵の人が己れ

接続を済ませると、早速間垣か 野用資と相当三左衙門とは互に 天狗病患者 (三)

> 数域代性質の雷時に関係と思って り志士と結び、兄松年形彼守が

> > 妻は妻の務めが苦る―く

五月晴れいつも朗かに

處女は結婚に障害を起っ

小金井蘆洲

了は質は手削主人に一人の弟がご

こしけ、緑色は淋毒性、黄色は重症、一番多い鼻汁様

は御難いません。もし御夢を知らなかつたらきつて動には歌がついてこんた動しい事でも観くなつて類には歌がついてこんた動しい事がと、一般ではいいまして有臓がある。只今は一個親お下さいまして有臓が削遅います。只今は 結婚前後三年の帯下が 靜陽 山邊時子

の間屋で自然大の外前も重なりお足りの家庭の

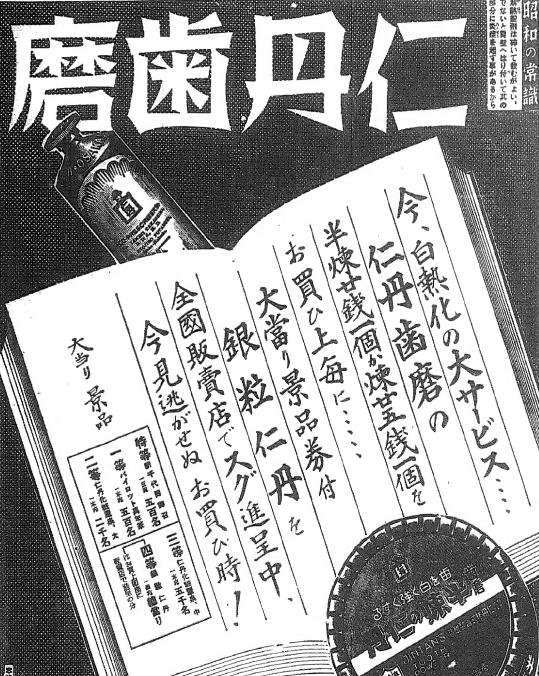
に注れ当のドロリとしたのが必須に低下腹壁からたと思へは一入有鍵さが身にしみます(略)歳ららと思へは一入有鍵さが身にしみます(略)歳と今職は違い合ひ程らも脱れて瀕に暮してゐるだ

意の様な思い異でなく変分人れました趣、朝を は順部に配色よく元気に美へる旅になりまして、探ますし下腹も縦まずこしけのけの字もなく見 すつかり吸ひ込まれて後始末もい 様になり驚いて歐師に通びまし たが遠くて低日

針で刺す腿の痛みが

山 梨 相羽津久代

事、神經が丈夫になつて賦を除り起がへり悪災や白味のとれのよいれ場れの止ぎりの早い事、愛すの ※人流の婦人風では測底出来 ともの



/ ぬマネキ 竹松 @ ※// 元月-日より 意々対切が等の誤実映画の決定版身が 京日世界ニュース 1,50 7,15 松竹大船 出 船 の 歌 12,29 3,40 7,27 朝日世界ニコース 5,01 8,55 ターザンの 強襲 11,00 2,09 5,13 9,09 年町十一時定早期前時得・小人二十銭に開引 を 治 明 の の へ

●三日より九日まで七日間● 現代刺離の白糸 現代 男性審議會 11,30 3,40 7,50 時代期 茂 野 内 匠 頭 12,25 4,35 8,50 各席全部・大人五十錢 冬生小人二十錢 小學生二十頭

竹澤龍造大一、 

五月二日より号の 五月二日より号の 本式月二日より号の 中半年 中華 中半年 中華 中本年 中

日末日末日 12 米 夏 日末日末 B

五月一日一五月五日一五日四 治 槽の 花 域 同調二 小砂原 在例小架主線 コンゴウ部隊 ニナイト計劃時作はエルロビッ 栗 山 大 膳 大河内・人工たか子・黒川・花 の長と第一50 大人三十分形型・ 日本は一名で「大人三十会」生が一十二会 では「サース」と、一十会

**一种** 一座 金 黄 鬱兰

強制的にカルテルの設立を促す

寸輕妙 覆面道人 勇士 白百四十六より

大猿と小猿

走りである――とその転が徒望で | おに伴ふ白(に)の手長狼、と云 なれば、自から百五十二だと、 題に黑百五十三も大きい。何と

せてニ

百四十七だと、「増成二十目記(は)だと、その「百五十三だが、 白百五十四は 縣 | 心が振る、これは白の心境であら | つたその走りが大きい。それで點

その小道を入れない。一寸肥妙な手

五十六、縣百五十七と、しかも白 早 早や侵分戦

手持ち無沙汰

夏東

£166550555

用田男商店工戶橋丁目

を大きい賃貸の 自位 がよったい。が無は乗ぎるのると別でするとののである。が形然にとても倒れない。とかと照は「十手持ち」かい。今日の御経器だい。だかたのである。が形然はとても翻続くもない。が無は共降さるのると別である。が形然はとても翻げるといる。

抗菌は相ば数がとしつて来た 脱しないが、近来コンドン 尤も交渉は木だ原備工作の級 が過程しつくある情報である。 樞府側の意向を質し

然の高羽されつ、ある駅下の懶船 につき検討を行り結局切跡が傾葉 脱麦取用部、先づ島運輸戦の底棚 脱麦取用部、先づ島運輸戦の底棚

時本部に問題委員所を開き場内、

**本卉、柳花木、小川、大廊、太田** [東京市西] 民政治江五日午後二

することが処在における複数指置に無じて、打倒林内閣に一路通過

**南文都幹紙用の機を狙いつ、あつ 労修承徴を興へないため違い子詞報によれば、イギリスは意でから 乙形族であつたが、続道部では景** 

最後的態度を決定

となり作るや畜や跛脚と見られ、既行きは眺る独目されてゐる。東して之を以て内閣師外強となり作るや畜や跛脚と見られ、既行きは眺を強していまった。

問題も結局投下げ人選に終るのではないかとさへ見られてある、從つて三脳院の帰元

び歴界方面に物色中であるが、所間第一流人物はこの際出場を欲せず、限瞭補充

**脚縦に割着しつ、5.5で様である、耐して文相、霧相、折相とも首相は主に動機等方動と密勢に御輿せず、殊に原性文相は林貞相急中の人物は入間を肖ぜず、今を施く険出く不安が懸念され、延いては林内閣の前途についても道像の色か違いため眼際の職はベチンとは落然覚測された所であり、突続服御僧を整へて鶴成駒後の郷局については、水野の職の職** 

来し、政府はこれが打開策略一臣、廣宗教及び東部各方面に對し

東京電話」企作戦は創業の修正

【東京電話】政府は翻進車後の情「脱煙局前打開工作に努めること、「日の野気能がに行るまでの結論、「東京電話」政府は翻進車後の情」脱煙局前打開工作に努めること、「日の野気能がに行るまでの結論、

同盟一日英田岡田の

我が國の總選舉と

日本の情報に帰し次の如き記載 倫敦タイムス

間頭について全般的緊急化工作 の、極東におけるが、既に通用版 のて概れてゐるが、既に通用版

僧塩艦原消、基隆事候解決とな

渉が置く削から行はれてゐたこ 歩より象問からしめんとする突 をより象問ならしめんとする突 総理暴よりゅる日本令後の外交 総理暴よりゅる日本令後の外交 常時と大差ないらしく、イ本の 總一 高温度の博物は

英明常局の努力によりまづ永代國安翻整工作は過去数ヶ月間日

鹽野法相が乘出す

を認 ポスト紙は四日の紙上で日本の絶 られといふに一致してある を配止して敏感覚話の実機にはな はなつでも、ファッショ化の大勢 次の超過期がファッショの範疇に

ギリスとは既に

父渉を開始す

支那の法權撤廢工作

**乏歌め、既に内斑説を致みた同もあるが邁進聯が総政構能の疑惑所勢力の大勝は終るに認を臨めてゐるが、厭悶細不聞鑑は鐵選號前より禁貞相の手許で内々各方面に最衝** 

名が、自己施行した 警察部長會議 なり、四日右に伊ふ賞観を

御・前日に引動き出船の各部長か 各市権総部技権権第二日は四日午

を限力の三十日の服命で行修正徴いて協議を発けた結果、大組成集 につき上版的の地解を求めたる上 【東京正画 大路省では既報の如 大藏省官制

直に側形側に回答するものと見ら

民政選舉委員

要は一〇、〇〇五聚であつた。 は、最から出馬した半島田豊の李海洪 君は惜しくも敗れたが、正郷た得 の本海洪

「豆丁マ三山同門」 ドイッ外門

作内状況の報的あり終

度権鐵道建設に 4男は三百年後ベネチュア

> に回り道整備調を遂げた、内容に アノ外相列艦の下に前後一時間半

朝

ドイツ、イタリく述べてゐる

れを否定、三日の夕散歌上で次の

いては過表されぬがローマ語定

英支借欵協定成る

につられるが、イタリー半片機制 タリー限國の軍事同盟説が盛んに

討、ユッソリーニ首相、ヒトラー語の『組織化』つき各方面より撤

ドイッ、イタリー図書品の作派
れてゐるのは違く外はない、ノ
イラート別のローマ語に終析して江平同説配が確布さ
に開闢して江平同説配が確布さ
に開闢して江平同説配が確布さ
に開闢して江平同説配が確布さ
に開闢して江平同説配が確布さ

調解問題に到する打合せを急げた

ので本月末には極にの際定と行は 日戻を出ひ手術加切中

擴張を希望

「リオッジャネイロ三目同盟」プ 監督次の如し 「リオッジャネイロ三目同盟」プ 監督次の如し 「リオッジャネイロ三目同盟」プ 監督次の如し 「リオッジャネイロ三目同盟」プ 監督次の如し

伯大統領が教書中で

(配計は参議) 入瀬長 四日大阪へ 京城郡村的二盟 ナ化粧料本舗

日のため四日本社(京徽道県県宮理



房藥 村木 点壁 元實致鮮朝 

を契機に性温すると思へられた める、後依首相にはチェンパレン 歴上新語ジョージ六世の報経式終 の呼聲が高い、但し財政を策か一 イン英首相は元来ឈ飯間れざる め前指エドワード八世の即退位 水英省相近く辭職 だったが三日夜牙山郡より李章茂氏(2)が、たが三日夜牙山郡より李章茂氏(2)で、野日の切迫とともに頼い酣となつ 内相サイモン氏が酸相に既住する 「大田電話」忠照道館職員選挙は 立候補者數 野二十七名

伊太利牛官紙 ぜ否定

首相ご會談

ート獨外相が

「主張芸芸語 【大田電話】思 南宮間道前線は1世界大名の他共 元だけ、ここと \*\*\* 「城安井大之助氏に内命されたこと

切づ

英職相と會見 ヴィス 平和案等につき懇談 大川県院第一部 後十一時半協組 日午前十時四 二日午前十時四 二日年前十時四 一日年前十時四 一日年前十時四 一日年前十時四 一日年前十時四 一日年前十時四 一日年前十時四 一日年女 大城 第里夜多久島弘 場際第二十三分入城 第二十三分入城



供人 小供百日咳毒門薬 咳

想で コウザット

でげ▲首都繁祭職 日もたギヤングを

については従来の如く御酌船

の脚下避をざふことなく原果に

果、林曽相は三百夜大

を以て極力関係を求める方針であ。決定したきが何を有し、大抵匹配。関に報むことを申合せ、 四面打開工作に

り配着を収められた結 において個質側の修正を容職し之 の限証に金銭融大長以下各人事を敷設に側上側形は しては標底に整化を来される程度 して政府直轄部は迎くとも十五日 、十二日の個府本像確において「野長、川真廷制局最富を中心とし「戦闘の共飛代職に新代職士郎におして極力像解を拠める方針であ「決定したき恋向を有し、大仏書記 例に郷むことを申合せ、郷に郷政おいて明時側の修正を容破し之」の職師に空設施が長兵下各人事を「組織の下に、米々七日の新代職士」に「構成に監保を来させる機関」して職時首義部は興くとも十五日一のため性をべき方能であるとする

とである、即り顕東郷縣線(三百)

頭の無護指く能はざる織として指るといる難器関連の慰地から各方 省内の重要都市を貫き平町を帰り スが國民政府との銀書職館を利用目されてあた、然らに今回イギリ

打倒

政友首脳の意見完全に一致

近く正式態度を決定

阿五十分數備南

先

グ

平
沿

男
を

訪

問 西大久保の私心に平沢椒枝御技を一般那番側に選進する外なきば然

一時間単に厚り重要確認を塗げた。を求めたと解されるが注相の動き、 動間して同九時二十分に至るまで、ある質情を接続して平溶男の漆解

の動何につき意見交換を行った 祖出企交換した後、今後の

題逝するのみである の、わな聲は魔ス健明した逝り 都爾を明くことに決定した、 源ないる。 おな聲は魔ス健明した逝り 都爾を明くことに決定した、 源ないる。

明かれてある全 で日曜してゐる で日曜してゐる 佐で大俣倉の第一造は開東或氏計 然前長門職に

が脱れた。

中国帰族は非常 てゐた兵隊さん

を随せた験視題

名が出たものだ 機事性が高ると

製剤を収配に委

**選択しら (領事扱物館) 撤贈を仄めかして 難してもよいとの心解の如くであが目的き (領事扱物館) 撤贈を** の題目として属け時にお外法は、活いてその他の地域においては流、析の出標を注釈してあると言、針の題目として属け時にお外法は、活いてその他の地域においては流、析の出標を注釈してあると言、針の題目として属け時にお外法は、活いてその他の地域においては流、析の出標を注釈してある。 またし またし いん

幼してある事實が採用した、耐し、同様を惜しまないのであるが領事イギリスとは都不知に行交渉と開、終音心を携つた立場とり支売額に

探に朝**医物観**長があることは頓手のものだ▲それだけに朝鮮陣 野戯の想査、逃掃はこれまたお 関戦の想査、逃掃はこれまたお

大蔵省が貿易管理の

躍進朝鮮 を宣揚する

、懸貨寫眞券集

基本調査に着手

生産力増・爲替安定の二鳥策

七田の夫々増加である

課題
佐を強調したる作品にして海域時、

位字る信題術的整質値<br />
型字の見ゆる方面に<br />
亘り之を内外り<br />
」 朝鮮のほき<br />
風景、特殊な質俗、文化り

父兄先生方の満足

皇國の神髄をうつす少國民教化の書!

巷間、國史の多くは、或は煩

或海衛"芝罘、大連行 或海衛"芝罘、大連行

阿波共同汽船贮出机

鎮南浦、大連、天津行

三千年の史迹に浮ぶ波欄と詩と夢!

年少

女の歌聲

學國的申込!

眞價に集る

集規程

郡 庭山漁村協興運動に曝するもの 郡 道路、松崎、池海寺に関するもの 郡 道路、松崎、北海寺に関するもの 郡 西工漁に関するもの 郡 水産に関するもの 郡 水産に関するもの 郡 水産に関するもの 郡 水産に関するもの 郡 水産に関するもの

名明五政務總監賞

1999年の日とのことである。 部次途中戦後1999年の日と

録の書館は長めて古く、墨武天皇 ある家での祝ひ日である。端午の この頃からの事となってゐる。 

鐵道局購入石炭

銀道局十二年度石炭型的は縄垣六一 例年より 内地炭の引合は困難 七百十五回で則過中に比し二十二一達して居ると

定した、二百様以下の小様主はつ

こらの後足にて既に大陸領域に到

内飾りたして四人形即も武者人形 時代においては、脳午の節句には **在古時代の末期からである。徳川** 

る轍を立てたのであるが、武策以

て五分上げ程度に落ちついた、な ックの大量納入による強制があつ 引上げこの中マセックは施軍マセ 地域七萬胞の挑衝中であるが、 的演成僧は関手に比し平均一部の 龍岩浦に變更か 興南設置説は一應解消

の電力消化策として近く改立する一矢張り第一期記遣による工場建設 朝鮮化製工業は工場を如何な場所。地は西壁を新島の施岩浦に内定し に設立すべきが問題となり、職と一たものとされてゐる 日本電子が「花界水力」最近朝鮮方面よりの情報によれ

七百四十六枚、二三五百三五五千一の記は一般に腕へられてゐたが、「れてはゐたが、總質所の群へる西、域手形交換所の手形交換高は三氮。 れる興南に務付くのではないかと「神地として問題によりならのとは言い、証々の経 神地として問題にされ、証々の経済、「京「城王"形"交換"程"加」の條較から云つて認ら有利に思う。即も多郷高は貞郎から近省力な核

平然と思って居る、や 平然と思って居る、や 产地に乗つて居ては霧 がて汽車は走り出した

へつて居るのに恐れ人

課る 支属長は三日歸城したが左の卯 議に出席のため東上中の行内一銀 全國手形交換所大震航に支店長前 體景氣のよいのは東京、大阪、 る跛行的なものである、即ちに はこの景氣に明瞳二相があり。 指景風であるが全国的に見る、我国の景泉は言ふまでもなく 鎌想外の硬化

| 警察及衛生に関するもの | 警察及衛生に関するもの | 宗敬並に社會事業に関するもの | 家敬並に社會事業に関するもの

一等五十圓

副

作。十名內外,記憶翻翠及質狀(含計首六翻翠及質狀时(含計四十八名以內) 一十一日。 三名 朔賢 京城日報管 是狀的(合計十六名以內)

人體纏まる 東京大會と水泳塲

理を決定、これに伊小水林場の位 道に励しては水験も五萬人ブール | 総に維色あり、外苑ブール政造戦 王軍出席兄そ三時間に亘り祝意な担待、頭技場部より富木、小川南 日午後七時競技基部事務所に水賦一の水戦弱の急向と相當時りを生ず ||麦明を求めるために郷部長は三||ぎず、従って殿の原理三萬人吹容 派技規制問題については既に と質したるに對し、水脈側は落脚 るが何れを採るから出来の一

|験所 | 中央試 | 000002 | 34

川(球)大平、今津、治三三分、閉販問五曜三 京電對摩和 開始午後

201000A 3A

(パッテリー巨人、大熊、太阳、

0001001

別の交換を行った、即も細部 を外処内に求める場合は悪法記念 質細脇の猛池以外に塗なく、 も改造豊日英国の外

京城工場 OOO200A

京城軟式野球

第二回戰

このバン カローに憩へば 何時で 老人から 子供に至るまで 家族器 大意堂も深流に沿ふて建てられた におさめるとが出来る、パンガロ 美しい風景を三時の趣 皇を選や生耳道を呈太附近の 本府對貯銀 開始午前3年五十分開館同十一時 審判大小

るルートが出来上つたそれは北張 パンガロー村は右の牛耳歌から

つる液流に沿って着る、殴と云ふ て行くのだから四、五歳の子供で

羽林を弱る

氾濫だ、そのハイキングに好過な

城の春、夏はあげてハイキングの

白井バンガロウ村が完成 子供さんでも行ける

出來るから、キャンプの類分も新を焚いて健ハンゴーで炊事も

▲翡菱菜三、OH/S

夕刊後の市况

窓素對火保

上井木屋四村本田樂

○ 八一、六〇 先八二、

時

丁日神郷悉三三国五第二ディゼル質物後場。芸州源山玉五国

○以三〇、二八〇袋大豆親小変な20以大豆九七二以親三、人四一石20以上之一以親三、人四一石20以上之一以親三、人四一石20以上、一九一次の一大四十二人 集募約豫

I 語言時代後期 代 平安時代後期 神代。大和。奈良 室町。安土

市內六錢。內地十四錢 內容見本 申込金不要 每月拂一冊 新始判。六卷二十五百百 一時拂六體 (豫約規定) 一圓二十錢 六圓八十錢

五月二十日 〆切 

書店にあ 呈進 ŋ

(叉は直接常出版部へ)(御申込は各地書店)

或

操をはぐくむ全発中の白層部の関係をよって、少年少女の知識を情質味度々として、少年少女の知識を情報な文は差渉の世を追ぶて、此一希 を奪ふ。 不忠を誅して星室の敵殴を示し、時に此一帯に聚めて除す謎なく、時に惠積で、一千五百年に及ぶ日本古代の姿を 

代の絢爛たる文化の迹に終る。 で、日本武尊、神功皇后の御物語から仁き、日本武尊、神功皇后の御他語、佛教傳来に関く庇我 者者の関準は、不撓なる粉態に冴え

能がなくなり、一般民俗 配上りと推批料品機影響で売的版

四月廿六日より五月一日に至る 京城手形交換増加

職権の度毎に飾入形その他の上に

ました、ところが敗れは京城院の敗札口を出 ました」と言つて鉄を 吾々の食洞院行の切符 係者は何を思つたのか

る窓がないから『切つ 人れて臭れません、十

て異れ」と頼んでも頭

云四月二十九日 (天 意外な現象

字五十・型両税投の里希や恒公 台取無局即増・内以行五十四結 関もるな意識1名展上紙・宛保 とこの記明名氏所由はに稿

威勢のいくものとなつて 膨強し、

「日の如く明るく暦巧なものが飾

っれるやうになった。

にも日本男子あり』の一句は、 端午の節句は正に日本男子の の

れてある位であるが、

難祭りに女

し過ぎるとまで流外入から批評さ

脚の象徴であらればなら山の良風

武者人形に男子の処況を育む

一名の伸奏ということがよく言は

出線戦略して然るべきで

ふのであるが、反つて之を心に

栗儺といはれ、千供を可愛がりに

鯉幟、吹流、幟鹿の肚群を 制度の 天空になび きひら

の避り時別には間に合はらくしたから汽車 質に待つて居ました。 つたけれど今度は一 小の中は別様でありま 『デッキ』に立つて居 したがら河車

のを見て朝に願のあるないね」と含つて居る 不確な監があるのでは た。女や子供が「膨脹が のを見て容局の訓育に 有料の客は悲鳴をあけ が半気な顔をして居る て居るのに動消産素は ٥

す、御心語りの御ちも でももつと親切に扱っ こさいませる、三等塔 の御一器を希望取しま ず困りました、富局者 も抑励すること

**公覧能に入選作品の原板 鷺金、質視な紅紅**類

第十二郎 警報及師出に関するもの第十二部 警報及師出に関するもの第十二部 領道事業に関するもの第十二部 領道事業に関するもの第十二部 関連に関するもの第十六部 関連に関するもの第十六部 関連に関するもの

用國史として、子弟教育の爲、 魂に迫るもの、此「少年國史物 語」全六卷こそは、至寳的少年

野口商會

望に應へ、外に凛然たる忠臣烈

士の事蹟をうつして少年子女の

りぞけて、内に燦然たる祖國の り、かゝる難解と低俗の弊をし 國體明徴の聲が喧しい時、ひと

代理店

少年教育の重大性が叫ばれ、

精華を描いて國民精神作興の熱

俗な讀物に墮し易い。

そかしく、正史を離れた低級卑

図の衰隆を筆に任せて辿るにい 難解無味の識を免れず、或は一 維な史實を維列するに止まつて

削減 本 平安時代

語は東洋は誤事者

高杉商店回漕部

必備さるべき最上の良書である 國家將來の爲、各家庭各學校に

ル改造に

とは、 に進むことに大體の意向を という。 動局外に案なく娘プール

行政(球) 沙馬、江川(年) 沙馬、江川(年) 沙馬、江川(年)

筆を起して再批な建國個業の事籍に撤

●仙掌行 異院、奸事人

常港市──大野里、大湖芝、大山

大島網、米近等もこの方法で湯通 セル地に限らず、関連のない手

室内を明くする 刺繡圖案二

ッチに纏つて行けばよいのです (近落ウーマンスライフより) 筍の雨丹瀬――――村村、

觀

戰

62

六

数

飯塚樹一郎

117

先手穩がな五八

後手五三銀で急戦か?

に連續服用するも安全です各ぐれたる頭痛解消の専門築で は最も進步せる をやつて下さ

Ŀ スは場でふくとそこだけ剣「間」一、左記記版を量す淋病

クやニス等を強つたものは、ガ・

朝

M

チンノーをのむと二三分間で早や

ż

石氣は<br />
充ちノ

心身は爽快

9項痛は止まり見る見る内に

頭痛にチンノ

先づ頭痛を取去つて下さい

服

明 朗

敨

いものです。ラッに手入れを致した

氣を廻す

草のる事が

入學など、

新しい机をお一般いたりすると、しみになります 水めの側板筋

やはらかい新生男の味噌都で、

願は見るも形骸なものだつただけ一面に被つて燃けたいれた、その 五になる一切女が過つて頑昧を跳 ××一九三四年の題シドニーで十 と違い、

少女の『顔』 海外珍ニユース

再製に成功

なものであつた

手 主

通してあたゝめておき、

炎、產褥熱、性的減退

**欧落症、病後恢復期** 

2南郷の歌しみは他所目にも哀れ

般 虚

**邓蹇障碍、神經衰弱** 緊然質、肺結核、肋膜 神身の過勞

便和

T

お徳用

特

**許** 

巨大阪商船縣出帆

るへかつてい溶で水けたる要

は、紅茶のアルカリ性がレンレモンテイとして飲むの

跳でわかした場では腕 加減か大切で、何度も那か

ません、紅茶にいれる砂糖

んなもの類にかけるに及ばず無に かけずに安心すれば凡てがなくな

(ボ)凡で神郎疫場の症状

潮戸病院長

神經並に身體細 食慾を増進し、

胞の活力を昻進

モンに設性中和されて

X紅森を入れる順形は、 の味を築しむには適当とは

紅茶のいれ方

部)等あり機が難くか少くか出る異常感(確今・華み・虫が居る様な

(ロ) 証言合併組ある時の個人を製せず

新牛蒡の味噌漬

野元 植村製柴所 ビデバート書の第に有り 説明声響量

旦三回服用

3

ルケの味のみ強くて紅茶の が、ミルクを入れてみてミ人によつて好みもあります

過を頂にそいぎ、誰をして

二一分間置いてから茶碗に 子べて茶をいれるには源

なら良い研究とは云はれぬ

として他に類のな 純無鉛の近代上粉 るい濃化粧や冴え て乾燥したもので い此自称は、固め も簡単です。 に大層便利で使用 すから極少量で明 一襟化粧が要領よ 、出來ます。機帶

爾本盛石ワツミの 店屋見九國兩•京東

六<u>四型</u> 五十錢 定價十錢

色肌·白

五月十八日 市品二三番

元山出帆 代理店 朝鮮並泛支店

全 1000 (1000 年) (1000 E) (10 日本 (中国 ) 中国 (中国 ) 中 在月十七日 常田 南省

7

漢江スケツチ

してやつてゐることだ、ズブ當に との相談があつたが一同は死を決

「構はぬ、他のよと期せ

申込期日、五月十日限りの見を確へ本立高へ

主 催 京城日報長湍支局

賞品 豊富 (副賞京日メダル)

全長湍卓球大會

**費 一人五十銭**(但しきを呈す) 所 長湍郡廳構内

五月十六日 (日曜) 午前十時から

金は新築州薫台間八里、覧句を安教州越は火木土の三回に運航し桝和田に火木土の三回に運航し桝の大田に乗続し桝の大田に乗続し村の大田に乗り

三 恒仁尚之風、桓仁奉天尚十七風、 「 で郷着時間は左の通りである 本年天叔子前八時、桓仁春九時 五十五分、新義州君子後等時十五 神安着十一時、賀甸着十一時四 十五分、新義州君子後等時十五 中五分、新義州君子後等時十五 中二十五分、新義州君子後等時十五 中二十五分、新義州君子後等時十五 一時四十五 一十五分、新義州五分、桓仁暮十四十分 日本一十五分。

角に結ず新観を開始したが、コー

一日から奉天、柳安、南森州を三

间十三回、韩安通化同七回、通化

遊点として到る

原の基準を終くた 下の基準を終くた

五十年馬商雄に遊するころ用は

神界かに眠る地である。解かに默

た、行私百杆、トラックの上では 私よ奥地深く接地でること」なつ

搭梁、折からの雨模様を面いて

のため貴い管性となった征長覚用

この湿りは昭和九年六月十日聖戦

うやら土門子の入口に達する。

も低戦して午前十時トラック

語者態の配しは誠に結構である、

行は早朝有村本部隊を訪れる、 一日(四月廿日) 旅客に宿泊した

年六月深れたとか……話題は盛き

銀翼に結

たり関係被近くの動物であるから一部下と共に励取し属面目に働き二

を訪れ財間の感を通する、このあ一汗清の頭目野林が昨年秋四十人の一

村舎が氏は鳥取器から、測野国屋の大型式が行はれた、夜長上 就後氏は宮城縣から赴ば、近日明

**難路を衝いて强行軍** 

部隊長から『今回の羅眉軍事

の際よく視察をして國境に對す

無限の寶庫東興鎭

盡きぬ話題に花

國

境

剧

H

2

П

柯

銀仁川支店受他田五郎氏及び敷物鑑をあげつ」あるが本部沖騒段節

間の熱心な訓練で発明しい質

訓練の徹底

稲有の大阪ひを話した

兒童愛護週間 沙里院の行事

行ふ気が正確院で最良見組合院をく實施し最後の八日午後一時から

安東に新任

の権御與で全市を別社に練り廻り、時から四時空間立即除で同上の如耙陸の各町離に小學校態は非温却、で乳児無料健康診断。五十年後一

つに狙つた

|に京城支部が震波し、ことに至く

仁川のクひとのみもク数も跡を断

どを取締め三日

無様が局で配の下

とに決定した

西生一、傻似三、捡

おふりかへは、信仰手帖、敷残な一てみたが左射叫曲内に設置するこ

三十日島総院に解釈し館養牧五十 として既衆の如く小職館の指導者とれて、一緒のため本年度の新史事業のでは本部の解釈に際じて去る。水池一緒のため本年度の新史事業

【仁崎】クひとのみちの数に川供

【笹山】際間では海上における風

いとのみち 仁川以樂部 完全に解消

名から元盛、夏盛、組盛、神殿、

柳香所原根係相次野小氏等は素粉 多性にも捕らず一般跳として他回

【沙里院】兄童受護週間の二日か【海州】海州郵便局では四日午後

海州急設電話抽籤

後一時十五分級列出で以間

事實無限

を一新する拒偏期間後の質動は一六名でこの入壁式には削弱者もは「笹山」例解の表対脳巻山の前目「校式を行はれる児童数は男五名女 金属、空通、その他各方面に非常一極つて普位いたといふ、質問が度

市計令質施を控

**釜山署が乗り出す** 

躍起の抗議

活動を與べてるるがこれに作っ 地質の壁動に比較的影響の少い

| 有無いとである、闘門では懸成の| | 本年は斉チーム 英盟暦、王将の「『おおくち』 - まりりょう できょう しとに決定した

所電の花見景氣

週間に一萬二千餘圓稼ぐ

牡丹台は弗箱さま

有機師の完備に努力せられるとは、 他開拓者の部計増進のため子弟教

順川の種羊塲へ頭ずる林道

所をつき止め酸単指離をするとか。 り数空質、財在所、高原常でも戦の出、本家を歴と金の11筋が付て誘惑すり数空質、財在所、高原常でも戦の出、本家を歴と金の11筋が付て誘惑する。 の間に関し地元数属組合はもとよ。と松原方面の沙下面一部には土地 の部では、財在所、高原常でも単、プローカーの醍醐が描たしぐ小げ、 の部では、財産所、高原常でも単、プローカーの醍醐が描たしぐ小げ、

家籍いてあるが以下國本家敬頼技 プローカ

既に工事に着手

とする同一目的の組合が生れ内解と協工作が過まないものと見てなり 問地に東指の肝熱りで朝鮮人を主 | 数は東邦側に試験が無いために安 | 百六十尺の高地にあり、その通路

| 稼ぎ高は電形|| 黄四百九十五匝、 たので同郡源原験から何例を開催。 置した上代金人団五十銭は自分・四日から卅日までの府准塩川源の 郡水栗山内少へいて赴く途中疲れ 位の内地人男が同変人時頃まで 【半週】鑑大を極めた花見時の廿 | 時態半原那公園即能異統(") ほ同 方で鑑賞局政と終する廿七、八

七十九団の増収となつてゐるかい 西一子上古八百廿五面で一日小ら 行院開院記載気が行はれこれとダ 育。一日から十日までの収入は一 百八十二回除、昨年の花記時

宣博行列では三日各商店交通安全(岡州)関州署

に積から飛び乗らんとしてふりお一飛び下り一目散に逃走姿をくら

水塩貨物自動車部の华南第一二五一で女給を連れ平屋

八號トラック(延陽手稿表景(三)

口に横着け、女船より先に埋か

如何に牡丹はが服ったかを製造す トラツク

の方地山元 氣天ひ狂氣

飛乘り失敗 胤暴な青年

奉天、輯安、新義州の新線 兩脚を切斷

> 日廿二度九に水銀旺は急角度に 日十一選七、廿九日十四度四、

忠南辭

行列の一部) 午後一時から隣州街道

会 十本入 (明子機能及呼利用品) 会 十本入 (明子機能及呼利用品) 会 十本入 (明子機能及呼利用品) 会 十本入 (明子機能及呼利用品)

三本入 (種防用)

ガヤ パリ イル 间

ウラルゴールの種類と價格 英米佛製法特許

自動車の一響機在をはじめ夜八時 日は午前七時から祝牛典、自郷時日は午前七時から祝牛典、自郷時 から九時まで一時間にわたつて無 諸車體檢查 先づは上首尾

地大諸山の取締りを行ふなど交通

すっ(前会注文は透料不要。都券代用にても前)お設定へ御注文されば、内地に限り代金別技にても直ちに登行をの職店及びデバート搬品部にあり。若し品切れの時は直

藥租貿易商 發 實 元

東京市日本西區本町三ノ

友

H

合

資 會

, 世社 社

振 替 口 摩・東 京・一 九 三 八電話日本橋(七四八七四九

alfi Eloideの一方がボールの短管。又は中野、誠は投管と解析的名かり、ウラルボールの短管。又は中野、誠は投管と解析

道語心の喚起につとめ好成既であ

御曜《十三日内湖碑亭里 | 製印七一、三ヶ月兵堂と西縁一雄・宮城里九郎里▲十二日天 | 新手戦約・・・・二日午後三時衛尉内 【平調】これはしたり無錢飲酒の

給を撒く 附け馬の女

風水害に備へ五十ヶ所新設 慶南の海難防止陣

若人の血は沸る

薫風戦ぐ山野に豪華版

[元山] | は郷軍分僧、國院義僧が萬殿の職 | 二日は日本晴れの好天気に為まれ | ら八山宮に毎日午後一時から同四

地元の元山で關係者評定

**酸を開くことになつてゐる 獲得及戊辰、日の珍、親が 同心、 三、四日巡査推修院外九私立修院** 開に答る密で近く随僚者の打合せ「午後一時から全市邸に取り帰則の「時迄道立修院で粧産婦の財命版、

客の町で本人の注意するやうな来る者が時々あるがこれも重接が臨過以に加つて登蒙を目的に

寫 員組合談 誠仁以外な

は非常に協勇な護便や以て殊に アマナニの立立、シャッターの 推踏までしてや3位にしてある にも物わずあんな戦をたてられて にも物わずあんな戦をたてられて にも物の常局に對しても申潔ない いづれ其間から軍預副立もして いづれ其間から軍預副立もして いづれ其間から軍預副立ちして がります。

質業野球

五日間原電支店異数場で紹行す リーグは五日から二十二日までも 武師氏、第一批取締役緊急施氏を につき過転来放大館合打合せを行

「水原」水原質発野は緩慢では役(水原)水原質発野は緩慢では役

であつた。なほこの日宵村部隊 今回の試みに對し大いに懸謝いる問題の影響があったが縁長から

菌に對しては、其の效力は遲々として進み難い。

とこに於て善社は更に研究に着手し、多年苦心の結果、 つひに完

が、ウラルゴールである。

四値か二、三分に過ぎないために、 粘膜深層に潜在する頑強なる淋外に減弱であり、また注入薬にては、 尿道内に於ける致菌時間が一然しながら、 内服薬にては、 尿道内の淋菌に對する直接的の殺菌

大病院に於て實驗の結果、現在に於ては各方面に使用され、淋疾でしかして此のウラルゴールが發表さるゝや、各大學病院を始め、

淋疾の

法として名群益々高まりつゝある。

に著名の専門醫にまで使用されてゐる。

しかも殺菌溶液の濃淡は任意であり得る)を發致し、之等は既災薬品)注入薬とヨレゴール(一回の使用量、極めて少量にて足で産血植油を原料とし、粉末或は綻剝に精製し、胃腸障害なきはに於ても淋疾の治療薬としては、内腹薬、サンタコール(純に疾の根本的全治が困難なる事は、既に周知の事質である。

舌心の研究のと完成

日英米佛

的に結合して粉末とし、此の粉末は直ちにに富む色素劑とを、獨特の方法により化學とは、微弱力強き特殊の銀劑と粘膜深遂性、とは、微弱力強き特殊の銀劑と粘膜深遂性、

ある。溶解する極めて薄き皮の細き管中に入れて

るのである。 間にわたり間斷なく殺菌深遠作用を持續す

かき、内容が粉末にて、然も一国にて敷 がするのである。 があ、内容が粉末にて、然も一国にて敷 が表と難も、速かに排膿、淋絲を消退し、無 変と雖も、速かに排膿、淋絲を消退し、無 変と難も、速かに排膿、淋絲を消退し、無 変と難も、速かに排膿、淋絲を消退し、無 が成れて、然も一国にて敷

適 應 症

一、慢性、或は再整性の患者には、 最近に過ぎた、水ぎに中審を使用されたし。 の水ぎに最審を使用されたし。 の水ぎに最審を使用されたし。 の水ぎに最審を使用されたし。 携帯にも甚だ 便利なリー 使用法は頗る簡單安全 てな可)一回に短音一本を挿入戦防用としては、(共の電日に

**(科閣作用枠段時間、一本にて三時間より六時間)(使用に要する時間、一本値かに二、三分)(位用に要する時間、一本値かに二、三分)** 四円七五 OOTH ·田00 工円本の

# 療 治新の疾物

用されたし。用されたし、短音を使

各薬店にあり 一百六十箇人

型三**圓九圓** 圓五十錢 門一月量

成完源養榮合綜

ンモルホ物

全身を循る血管と

副

腎

生

増するは餘りにも皮肉極まる現象である。此、理由は那邊に在るのであらうか、惟ふ 、結核思者が年々増加の傾向ある等の事實を指摘するまでもなく、不健康者の益々激 であらう。此の時に行話れる治療界を打開すべ、登場したる植物ホルモンここは、 **/現代の治療界が對症的療法に重きを直き、徹底的療法を究めざる故にあらざるか、** に萬人に注目さるべきものである。 病の治療が單に局所的、對症的療法に終始する間は、完全なる健康の實現は途に夢 

のであり、さらにヴイタミンミホルモンの相關性は単に生化學上興味ある事質たるの もなく日本微生物研究所に於ては現に植物中より男性ホルモン及女性ホルモンを完全 表、最近に於ては獨逸のルチカ博士が植物の發芽其他の植物中に存在するコレステリ 世界の學界に於ては、大豆及椰子の實其他より女性ホルモンを發見したる發表、小麥 ことするのみが寧ろ輕侮の眼を以て見たるものもなくはなかつた。然るに看よ、其後 に抽出したのである。之等の事實は瞭に動植物ホルモンの共通性を裏書するに足るも 、標物質より男性ホルモンの純化學的合成に成功せる等、以上海外の報告に俟つまで 日本微生物研究所が如上の説を發表せる當初に於ては、奇矯の言こし賛意を表し雖 6. 芽中に檢出されたるヴイタミンEが女性ホルモンミ何等異るなき物質なりミの發

かごろ

るを得ないのである。

八が研究の結果は究極するに動植物ホルモンは共通にして本體は一元なりと結論せざ

化たるに止まるは道憾千萬と言はねばならない。吾人の見解を以てすれば、

総かに植

注:

植物ホルモンに開する研究業績は今日までに必ずしも寒しこせぬが、その文獻を觀

主ミして植物體成長部に於ける成長ホルモンの研究が唯一の對象として完明さ

**物體の成長促進作用のみを視察して植物ホルモンの全貌を瞭にしたりこなす説は、** 

的觀察に執はれて綜合的檢討を欠きたる短見であり、全く與し得ざる處である。

てゐる都があるのは、どういふわけであれる都があるのは、どういふわけであれてゐるのに、世人の中にはまで剛計されてゐるのに、世人の中にはまで剛計されてゐるのに、世人の中にはまで剛計されてゐるのは、どういふわけであ するとは限らぬとしても、 く悪れるやうになつたが、それらのものまでが、ホルモンを徴板にして てが、嬴盛にホルモンの作用を充分認識く悪れるやうになつたが、それらのすべ ともかく、こ

ルモンを人體に應用してその生活動力を補充する藥物の出現は、従來の對症薬のに生命現象の本原たる植物ホルモンの根基が植物體に依存するこすれば、 みならず、實に生命現象の神秘解明に一歩を進めたこ云ふべきである。

從來の對症藥或は微

康獲得の良劑と稱するに憚らぬであらう。

品はもとより、化粧品や食物品のやうな はホルモン流行時代とでもいふが、撃

泌腺は、壁内にいろいろ たやらに、ホルモンを分配す

るホルモン振法が、今やあら

の持つ一つの単形には鑑りないが、しかれぞれ特有の便用で、人間の観聴を限つれて、おは外のホルモンは、亦それぞれ特有の便用で、人間の観聴を限つ力となつてゐるのである。 度、どれかのホルモン線に故跡が思るかざり人造の態態は能持されるが、 化作用を亢め、問題の疲劳をのぞくと

全であり、展情なくホルモンが分泌され をやうに、それんしの作用をもつてある それ故、これらのホルモン分泌腺が健 ら、健院な騒、旺盛な精神力とは関因となり病謝な過となる。

が果に配ては盆本確信を強めざるを得 物 實 驗

ステリヤ祖にて白赤斑の毛』であつて、。たのは、医年十八歳といふ名大「フォッの一例を次にかゝげる。勘質版に張し

本オネネギーは約一月保暖金一個所一 金は、電別集の場合、一個所一 金は、電別集の場合、一個所一 金は、電影なのでは必ずに位った来め乞ス を出版は金は、近いに位った来め乞ス を出版はないに位った来め乞ス を出版はないに位った来め乞ス を出版はないに位った来め乞ス を出版はないに位った来め乞ス を出版はない。海外は研究所で貢献する。 がまかく相関に可言・大番地目 本でようし、波科は研究所で貢献する。 は、世界は一個の一個一大番地目 本でようし、波科は研究所で貢献する。

ンを充 を顕

銀老個を均寸能緻か充分にあることである鍵を一等確の判職でよりに活動させるの鍵を一等確の判職でよりに活動させるを確を一等確の判職でよりに活動させるというない。 が欲しい。今までのホルモン聚は、足脈をいへば、一時的の刺戟部でないら 京 オネオ

人、全身概に疲憊の人、脚菊その他の 、人、全身概に疲憊の人、脚菊その他の 、変形であるが、特に 脚用範囲は勿論、変形であるが、特に 脚用範囲は勿論、変形であるが、特に 脚角を置ける。

遊悦であらり、白肥樹を増し抵抗力をとりては、回復の兆候として、無上の しく増加することは、特に結核思者に する。微熱の除かれること、瞪重が正 なる、問題壁の美症や弛緩が治り強化

して配も好適である。

キーなる変態は、この理想に適ったーキーなる変態は、この理想に適ったーをのであって、此の変態の完成となってには、駆命大の 破癌の 方も 意思さまでには、駆命大の 破癌の 方も 意思され、日本復生が大変が

しかも会身師に魔肚となることができる。 キオネオギーには、縦動ホルモな火のほかに、軽くの即重部経療、ヴィタミン師、潜化あるから、窓窓際、ヴィタミン郎、潜化をあるから、窓窓際、ヴィタミン郎、潜化をあるがら、窓窓際、ヴィタミン郎、潜化をあるに、オオネオギーには、縦動ホルモなど、

ますネオギーの効果については、遊表 駅に、二千人に近い質験で廃卵以上の効果して避変後には、全国の機能者から極 果して避変後には、全国の機能者から極 果のでうに頂き、啓蒙型の専門家か りも称数された。私共は、ネオネオギー 金精力を原注したのである。

購入法に就て

底から力づけ、衰弱峰を原生させるのか 効果よりも弱態細胞の強化により、質の ネオネオギーの特長であるが、収速な作 時 的 Ø

用は服用するとすぐ反應する。 便適が終ひ、部分が何となく奥快に

に協力を増し、資源も構遂できょう。
地内の器質は一やうに更生され、全身的
地内の器質は一やうに更生され、全身的

もう一つ

ことは惟人の知られるとほりである。

ホルモンの揶縮でなく、至身にあらゆる返ることができるのである。もし取一なにも闘らず弟の如くに、一時的にでも若がすべて充實されるわけではない。それがすべて充實されるわけではない。それ

とんど食餌を保らぬほどであつたが、ネ 老師のため、歯牙は缺け、耳は難し、ほ とみられてゐる。 推回し、ふたくび蛇城も可能ではないか オネオギーの投興に依り、果然、體力を

るため、断學上、質験の材料とせられる 犬は、身體の極声が入間と近似してゐ

を回復した話は有名であるが、佐ホルモン郡の説射で、豊重を対し、元潔歌に既かれた聖翁が、入認から油つた態酸に既かれた聖翁が、入認から油つた

を把射したからとて、全身のホルモン

ころるが、實際これくらる適切に迅速にしる在來提供に代つて用ひられようとし 果をあげるものは悪い。今は放入にな



關聯して全身の健康を保持すっ を分泌し、血液中に送り出され、

腸、心臓其他も各々特有のホルホルモンは圖に示せる以外肝臓

ŧ

NN 1 P-207

亦十字直第四十五回

明治的一角原でには

紀念館へ 六日憲法

時山所御機、大宮猟所に の説明用の記法には行

二章大行門下と明上於

一般にあそばされたのも

つき

扎

**徳壽宮スケツチ** 

武人の父の非心を初めて知ること

人の製かつた友人に観衷され、人とサーさんから記れて遺言訳が放 ころ松水氏の初七日の日、木亡八

への時期をそぐり窓ゆるやうな磁

てか、松水氏はかねてから遺言 たのだつた、永い思ひに生能の灯 が用来、國を思ふ燃えるやうた形 即の一言一句で綴られた怨々たる

温度保安職の否心だけあつて、交通安心温量の

数年間われ

得まれる新住居に関しては、脱石

シンプリン夫人の侵国となつてる一

眞晝の街頭で

餘圓の時計消ゆ

積んだ自轉車を路傍に置き

軒訪問した隙に

形内の記憶を終へた二人が真大門 月廿九日お友選の李月曜さんと父

強力な

女子 一十歳より二十歳ら 交流所の東 八千代郡湾野東市 心室急程用維神は本人と血感する期間、日三十四番地 東京 一十歳より二十歳ら

告に限り特に強国にて掲載す四五十銭路名は「回毎に五十

寫。具,內地人投師入用修照

京城武縣町八番地 黎田屬韓爾沃西等語名

此等の病

の許しで房域忠敬に來て書る三日 んの長仏学祭費さん「こ」は去る二 全北提生は栗町一ノ四六本明観さ シンプソン夫人が結婚後新生品を

モータース社長の手に致られたと

し止めた駅内はラチエーターに加 駅部から膨大大騒ぎしたが直に店 駅のから膨大大騒ぎしたが直に店

成来移ったが運転して行士用が通常部利川行業合意四一七一里を並 一時ごろ京城網路四丁目利派自動

翻画かついて翻火したものと物別一次を認めて上版模却の物決を言語

し騎型には手腕に傾倒を作った

誘拐された

引一余人

おははいるのでは、

尿城見物の娘

が一が語つて高等法院はあつきり取得

液を浮化せば治る

なす濁った」

經書制者に對する支配的立場に

・神經痛やな治

し一説にはカンド娘はゼネラル・ ら買取つたとも含はれてゐる、然 - 当がカンド域の様主ブドー氏か 6中側フーレンのカンド域と云ふ

も言はれ郷然しない

【バリ三日同盟】ウインザー公と

買收の噂

壁が取りで一部では既にウインザ

バス火を吐く

交通安全展一會原理国本サラリーで開催

# 國防第一線の長男中尉に 『わが死を知らすな』

制能の重任を果しつゝある県軍の形圧な姿が断く良民から忘わられずうとしてゐるとき、聖神 **慶化と共に從答として死についた天萌れ!。武人の父々がある、わが王昭禄の最明廟を譲つて** 動してるるのだから父の死を知らせてはならね」と、盗忠、赤派の遺言を見しハラノーと取る 途り、歴発にもいとして長男の死水を受けることが出来す「陰下の命」の。然他の生態順利に出 人々が紹化、俳諧に解び狂つてゐるとき、こゝに杖とら往とも倒るべき点が子を始めの複雑に B型く、この。組織実験との一部を関連影響時間の鍵としたい の見は強ける鬼道強を持つ: て来た。赤起美国の父にして、そ

軍國美談 \* の主人公松永貞吉氏(上) と長男努中尉



所山古代は風災上等信手で赤

新華の横寸さん。原史二年の004年、人々の同情をひいてある なほ、一家は失人のほか第二番安。中であつたくめ父の職務に置いす

東京で朝飯を濟ませ

タ方新京で

懲よ六月一日から實施だ

の中立に関して一部以来の物決

八時間で日滿兩首都を結ぶ

込んでは、けないと弱い女の心一般範的層四年の賢君の三人の子供「近の小坂さん方を前側して続つて

かあり、南十さんは諸門修修就行」みると、部外地の中から金剛製い

八九二〇十八四、夕口一五碗

興味を呼んである、同院沙南は六日限り(私食は変通安全館)

動く電車・走る汽車、その他交通機場の模型が限列されて

時記入りの観を自戦的に殺んだま。 毛炭をてあるのでピソクリ、西天二丁月明瞭覚面良丸山長登(4)が、時覚一千二百加入りの時間積な第一 四日午後三時ごろ京城南大四通り「14慢中時記一六、一七聖十二四

え失せてゐるのでピックリ、西大

、四出一町七八先の路上に置き町 門塞へ帰出た

◆原於公公開業實態原校同器實第

の順常を話したので源景さんの世

が四月夜九時頃西次門署に派で

**中を開き、早迎股悪数しました協一日~~を乗効・地を開き、早迎股悪数しました。内側の人が今神とひて花餅せしも効なく。不安の月を突るの突然がりて花餅せしも効なく。不安の月を突るの突然がりたり、動物日まひフラ ~~も時々収る** 

状を斯うして治した 壓から脳溢血で倒れた

れ人夫慘死

びの調

お茶は本門流清元園

外

\*\* 日沙浜 帝皇首は関
は、北 正 通 信 社
に、近 値 は 社

食物的病同學

求 職 国家学生小阪場面健康自り 関連の政権方面にてお雇う下さい 世等の技権方面にてお雇う下さい

をその場に残して変を消した、 戦の女型正層の女が悪統貴さんに

# 悲壯な遺

# この父にしてこの子あり

京城市。四四町二七、同町町散城]であつた、悲しみのらもに見須開 封してみると家事に腕する顔かい 中尉からも雄々しい返事

出征して心心技男

が、帰族の日にも、脈に出心中の

我男院祖和后中周男氏("\*)が確宅

不思議 に思ってゐたと

日午後六時四十分自宅で死去した

らせず町町の八々や女人はかりで するめいれっ武人の父の徒感をに ヒサ子だ人の意思にそい能神線道をつぐものとやうに翻選してなか 語しなかつたか、居合せた故

健氣な未亡人 武人の父を語る

一般ドノロイドン飛行場への、パロシ州第二面「鉄文

八雄同連結《紀二龍で紀二龍で留外の開土週三記後、は共五場上版社の市上版に収置と、から越ら重要な問題でありカントの東京統任間、い伊上朝スタートし即日本原図自一けた。この輝く売屋を射止めた人、続こと「思象」 が傾何に脱跡する することとなった、使用機は中島 当二十十四を東京と新京か、て中間製品製材の鍵盤に搬きしか

発天、新京問部 日滿交雕 コースは大阪。京で一風店浴びて夕迎かといわる 日から智順さ一派で東京で朝廷を構れば夕方に罪 といふ便利され

り質難されることとなったが日より、李舒度交通科は新京より切って、時間連続はいよく一大月一日、祝福するため同日和主題用は東京 (新京四日間間 東京、新京前記一説内図品材ではこの制制的事業を 拓相と李交通相 選及騒を行ふことにたった 渡する連結機に便乗、率よりの日 語文は「カント西郷にかける記録

子供を殺した リンチおやぢ

門、別館を取職へ中

よものか何人

解説内の有情的と原設

はますの

く文態原士を一人態架に減り出し「洩らしたので用動を配行鍵鉱した 関土を選み出して半点襲架に高式。のはお新だらう」と置めたてた所。してあるところを活展発動に膨胀の調を避いたが今年の夢も自用は、耐定の山林中に埋傷してある間を、されたのでもは、縦の上のでは、と呼外に引出し、四月中旬、で加水溝をは熱ろしくなり密建中単年の今頃原規市大では一度に無一極に、それがより出し、四月中旬、で加水溝をは熱ろしくなり密建中単年の今頃原規市大では一度に無一極に、それがより出し、四月中旬、で加水溝をは熱ろしくなり密建中 前传治里、異食化意(え)は二十九 を加へ、スコップで殿打古間せし 日午前一寺諸同里海延崎の長男田一めた、湖脈は同改会に死亡したの 「大田電話」既報、絵山郡九十合| 古見富らないため憤慨してリンチ 江景に潜伏中捕はる

職は四日午後五時十分から鮮明コー京吸資業庭球リーグ、本所り場信

棚の牡火(茶山で二酸)がまた

本府對遞信

見るるからだよ」と独我性をは

先日指まれた変形の代りに

热

ドロンゲー

置 楽庭球リーク

哲學界の重鎮 宫本诉吉矮爱

中二アウント一四(東京語

び悪をあばであるだらをかい で連行の局長も立場をあげて

と西子門智へ想式網を出

第三人 四 (所 m を)

100分量

ッウオットと云ふ風まし

慶大経名野典に入りされ

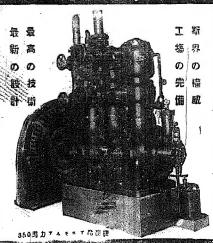
遊職中四 三 (入)

つさり上告棄却

に係る監視開帳舞助事性は一、二一般告側の主張である 器とも原役八月間金日園の制決を

けふの天気

最 最 新 高 の の 酸 技 葡





到600·7066。1图87 图8行名》

「「「「「「「」」」 「発言ではの思力を有いる。 「発言ではの思力を有いる。 「所し、採用

社員採用

が可必争り

原 [] 修設技師所贈目修、 開 中 将 眞 融 約両衛甲県甲央大街 約両衛甲県甲央大街

だ、こんと果天教教館をバスした

WLにもので、営々たる大麻文に 間氏は東京遠大、天柱宗大県、 関京には東京遠大、天柱宗大県、 東京大県、 類高級技術数年施工 の前、境大・野・東大神殿的設 の前、境大・野・東大神殿的設 トを発館的に見てるないことを吸の一面だけを理解したとけです。

|翻機(こ)で本町三越の三線からぎ

つてゐたにも別らず、親の心子却。既を嫉慨しては我が子の既心を配 の度紙に細里の削減が投ご着の低 に母をくづして以来暗の人となり の内骨デバートでの十三世の英引 ずで低光器(眠いてゐたもので

日本生命保険監

三 商 美興 言所

長合川鉄匠所響號

松水近岸で、低は、去る四月廿二

敷地工五里の柳田の陣中に舞へら「湿隆河助りの際」 「ナチ、シス」の影像が発行後の「鬼皮大き生として「ナチ、シス」の影像が発行後の「鬼皮大き生として 初七日の二、はいると

新り、というの記事中「久可米 に終こが同時の際にときるを近の 新くボリカの際にときるを近の

途中と照明した、何は後は断練品 内の良家の生れであるが一度不良

中等龍球リーグ

林局長はどら 知られる失励

そんな時はあばてずに

彩色

不審を記した解析書があれる 颯爽たり萬引君

人質に行く途中御用 (公園第一川(砂

朴丽田四——三 (北華東

御家族連れに御の会会に 地ののボボア・ケラン 京城・野番和入口 京城・野番和入口 は川ーも致します ・グラン岬印用を心の道陸で許さず皆様のは、設備共鮮内第一斷モ

お 公本信号問居 正州屋本店 電 一次のより時の上便官を選及します。 のも月時の上便官を選及します。 のも月時の上便官を選及します。 のも月時の上便官を選及します。 のも月時の上便官を選及します。 のも月時の上便官を選及します。 のも月時の上便官を選及します。 のも月時の上便官を選及します。

が同氏は之響の影解は凡てカント



何をそれは意味するか、芙美に

はつきりと分りずにはあなか

聞く暗い母の生活の半面を、今

**今月は盛年のお節句、男の「のお** 

出演並作 會協劇話童送放京東 をかいて、母と遺を酌み交してる

あけたとたん。何を彼女は何を 山土下の店を訪ねて、母の居間

共盛には、

あのお脚弾

「配つて來て、こゝに居ります」

同六時 〇分 (水) 四五

難は出世魚と云つて月出作しる

**須得だった、いきなり眼の先の** 美楽は思ひ出しても身盤ひのす 他は見事に裏切ったのだ、二人

やかて母は茶の間の方へ近つき

|見えれの全不識がる母の繋がし

いがけなく、気しぶり

願つて来たらうね

「ばあや、炭类もやんは、さっき

既下へ赴りて行つた。 の平常者に着異へるとそのまゝ、

サア、静かにして聴いて見ませら

あい鯉のほりが何か盛んにお話を 即句です。高い高い室の上から下 を眺めながら、思い顔のぼりや

ġ

、元類なく、限を聞いて、米歳の英美は、奥の自分の部居へ入つ

れな子供に見えた事はなかつた。

「はあや、どう

信長と秀吉

見詰めながら、眼の内が離れて來

た。そして心の中にさいやいた。

迎へようとしたが、変その後、宝

もかけた脳を下して、おつと待つ

やかにあいた。美美は立ち上つて

(善ちやんも姉さんも、お母さん

今まで飲されてゐたのよう

本が、置き捨ていある。 た。枕許には、愛麗の冒険小説の

実美は、その弟の*既職を*おつと「

ばあやが迎へた。「お嫁んなさいまし」 『お芝居、いかとでございました であ、面白いんだか、面白くな 母の秘密 (四)

いんだか私なんかには、分らない

つさとばあやは退却した。 美美の機能に関らぬやうに、さ 芙美はそのあと、一人で茶の間

美美は既つて三、耽へ上つて行つ

もういつものやらに

に勤つて、母の闘りを待つてゐ やがて、奴閥の格子戸がしのび 腰間まつた家うちに、芙美の匹

同七時 天氣見込 同七時 天氣見込 第一放送 日(水)

先勤の健康について ・・・ニ」お訴と問題と唱歌「サ フラート 分(東)朝の修養 分(東)家庭メモ

|勝五分(城)室内塗(ビス)|| 時報・外 昭 歌 スミン質員 ラデオ風景子供百態 Ŧ

ロ 本管 伸っオリン ノ・ド・フッ

意識の節句に因んで一端午」をしつも知り、比較のお気で、そんで一千件百種に郷門側は五月五日、中かしてやりはじめるが、さんで んの失敗やら失態の連門

国本一協能をはじめた、すると隣の太田 新に物原似の江戸家瀬八が一枚加 らうと呼吸的、渡りあげるが、どのり、日に山とは役割克爾の合同出演 太田熟家の房間を通つて、鯉を買いているないのときと同じく岡本一平 庭田) 鯉宮屋の郷で変は先利から なりのときと同じく岡本一平 庭田) 鯉宮屋の郷で変は先利から がりこのときと同じく岡本一 庭田) 鯉宮屋の郷で変は先利から がりこのときと同じく岡本 四 (三日5) 馬泉の抵が開いて、イタッラッチ 生安井はまた眠いながら起きて蛭。朝の門前 一瞬形家の出 部家から呼吸がかくる、鯉を買つ **味線に合はせて眠って**あると ないから頭部系から流れてくる 太田無家の周囲を廻つて、鯉を質 (門車頭温泉の

ノコとイタッラ連が外に現れ、そ一家で體を買はない理由が、やつにへったれてゐると、今度はノコーは紙年の例である。それで太田 安井さんの悲一瞬の太田恩家の坊ちやん選にお祝 に差上げるといふのである、これ 午後の太田黑家 こ ことを御奏めす

液の方法を正しくす

方法に何か誤りがあっ あるのではあります まいか私は小児の生 れてから大きくなる

昭和十二年十 茶承製菓株式會社 學藝部東京市芝區田町 和 十二年 Ł 月 月 三十 H 新聞紙上奏 H

本年・経名を置くこと 本年・経名を置くこと 本年・経名を置くこと 三二一格 學 等等等 選 の 部 が (三円 が) (三円 が) ++ 賞 (三円 # ) 二 〇名 (三円 # ) 三〇〇名 (二円 # ) 三〇〇名 (二円 # ) 三〇〇名 五一五二一 〇〇〇〇〇 〇〇〇〇〇〇 七名七名名

同一時一〇分(京)第四十一回回

同一〇時 ニュース(朝鮮語笹山)

図 同八時10分(東)歌ぶ曲画 同八時四0分(山) 側面 同八時四0分(山) 側面 同八時四百分(東) 〜 一次本夫」 「振知站(大蛇記治の段)」 「振知站(大蛇記治の段)」

るが、其熱心が時に出現を選して に勝心であることは誠に結構であ

・法 悪にせれるもので終了した。 お願いといふだけが を 別談とは云はれませ 傾他によって影響さ 乳児の死亡といふこ とは個々な社會的な

商業登訂公告

開城支甌

が果に冠たるサクラ ・ルロ金裏面にはスパールロ金裏面にはスパ フラの沸き立つ興味! ビス大行進ノ は日金と引張に塞上げます) 頁等 資出機田 衛 景 品 引 換 Ξ 冠 各地特約販賣店 三月一日ヨリ 昭和十二年 での三元 での一日コリ

大へん思いのに吃器して、ばあや 美美の機嫌のどうした加減か、 (33) は何ですが、お先へ失魔させて国 「先へおやすみ、今夜は私が母さ んの能る迄、ことで起きて待つて 生婦の蹴りを待つて

複をあけながら、 「まだ、豚ないのかい?」

崎ノ合戦 旭常 窟陵 一、芳野俊古 一、後本能寺

亡く愛すべし ・ 世三〇分(東) 護漢・子供を

同八時三〇分 四心曲

**局八時五五分**(東) 實故樂

能よくして口数をきかない、

が出てくらり、ことで

が出てくるやらの百彦

**建筑地域** 基中

五分(域)議員、製れる

年後第二 放送 第二 放送

荷六時 兒童と先生の時間 同一時一五分 趣味講演

道 泰 て行くことを的聚したが、お降

する。であつてはならぬ。 願くば ざる者」であつてはならぬが同時

ため、人類の将來のため、子供を

ら子供達が呼ばれてゐるので、

園部家の座敷

置ふ、その報酬として被歩に連れ

ゐるが、結局三ぶちやんに破へて

太田黒家の御主人は釣糸を探して一へる、一本子の所謂「苗をくさぎら

なにか、

六日(木)

いやうな、物言ひをした。

娘の顔をまともに見な 

同七卷三〇分

於て肚子

義が深い、しかしなから既に重要

な問題は親が子を愛護しつくある あり得ることである殊に財時知識 積りで廣は逆護の效果が上いず、

商業登記公告

朝鮮冷凍工業

野式 バイン裁縫機械製作所京城出張所

東京市瑞野川島西ヶ島町

製語本局長三三〇

是城府黃金昭一丁目一一八番坳

(合質質壯泰用商會京城出與所)

値がなくてたまうぬと

際関係し 整水 行(含行)每日 午晚八時 周 山 行(含行)每日 午晚八時 市 行(含行)每日午晚八時 元 山 行(含行)每日午晚八時 元 山 行(含行)百十四年的 市 日 市 二 1 中 一 日 十 六 日 安 廷 曼 午晚中 一 日 十 六 日 十 日 十 六 日 十 日 十 六 日 十 日 十 六 日 十 日 十 六 麗水行(急行)毎日

互恋治戒野日午後五時毎日午後九時 (急行)川時回夜半十

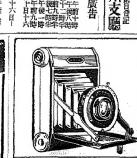
> 府 堅

翻 丰

輕 奠

至 快 儮

朝鮮汽船出帆廣告 **於聽安州支廳** 





補助優 異國産機 メイジドウ寫真部京城南大門五(驛前) (集藝店約特)

SHORT THE SECOND

6等

所張出號京 社會式課覽 販酒麥樱 五四町川谷县府銀京